Cisco Spaces リリースノート

最終更新：2025 年 3 月 24 日

シスコシステムズ合同会社
〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー
http://www.cisco.com/jp
お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター
0120-092-255 （フリーコール、携帯・PHS含む）
電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00
http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（ **www.cisco.com/jp/go/safety_warning/** ）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED “AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at www.cisco.com/go/offices.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2019–2024 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

目 次

Full Cisco Trademarks with Software License ?

第 1 章 **概要 1**

Cisco Spaces の概要 1

Cisco Spaces ライセンスパッケージ 3

Cisco Spaces：製品の機能 4

第 I 部： **2024 7**

第 2 章 **2024 年 11 月 9**

今回のリリースでの新機能 9

このリリースでの変更点 9

問題 10

未解決の問題 10

解決済みの問題 10

第 3 章 **2024 年 10 月 11**

今回のリリースでの新機能 11

このリリースでの変更点 11

問題 13

第 4 章 **2024 年 9 月 15**

今回のリリースでの新機能 15

このリリースでの変更点 16

問題 16
未解決の問題 16
解決済みの問題 16

第 5 章 2024 年 8 月 19
今回のリリースでの新機能 19
このリリースでの変更点 19
問題 20
未解決の問題 20
解決済みの問題 20

第 6 章 2024 年 7 月 21
今回のリリースでの新機能 21
このリリースでの変更点 21
問題 22
未解決の問題 22
解決済みの問題 22

第 7 章 2024 年 6 月 23
今回のリリースでの新機能 23
このリリースでの変更点 24
問題 25
未解決の問題 25
解決済みの問題 25

第 8 章 2024 年 5 月 27
今回のリリースでの新機能 27
このリリースでの変更点 27
問題 27
未解決の問題 27
解決済みの問題 28

第 9 章 2024 年 4 月 29
今回のリリースでの新機能 29
このリリースでの変更点 29
問題 30
未解決の問題 30
解決済みの問題 30

第 10 章 2024 年 3 月 31
今回のリリースでの新機能 31
このリリースでの変更点 31
問題 33
未解決の問題 33
解決済みの問題 33

第 11 章 2024 年 2 月 35
今回のリリースでの新機能 35
このリリースでの変更点 35
問題 37
未解決の問題 37
解決済みの問題 37

第 12 章 2024 年 1 月 39
今回のリリースでの新機能 39
このリリースでの変更点 41
問題 41
未解決の問題 41
解決済みの問題 41

第 II 部 : 2023 43

第 13 章 2023 年 12 月 45
今回のリリースでの新機能 45
このリリースでの変更点 46
問題 46
未解決の問題 47
解決済みの問題 47

第 14 章 2023 年 11 月 49
今回のリリースでの新機能 49
このリリースでの変更点 50
問題 51
未解決の問題 51
解決済みの問題 51

第 15 章 2023 年 10 月 53
今回のリリースでの新機能 53
このリリースでの変更点 53
問題 55
未解決の問題 55
解決済みの問題 55

第 16 章 2023 年 9 月 57
今回のリリースでの新機能 57
このリリースでの変更点 58
問題 58

第 17 章 2023 年 8 月 59
今回のリリースでの新機能 59
このリリースでの変更点 59
問題 60

未解決の問題 60
解決済みの問題 60

第 18 章 2023 年 7 月 63
今回のリリースでの新機能 63
このリリースでの変更点 64
問題 65
未解決の問題 65
解決済みの問題 65

第 19 章 2023 年 6 月 67
今回のリリースでの新機能 67
このリリースでの変更点 67
問題 67
未解決の問題 68
解決済みの問題 68

第 20 章 2023 年 5 月 69
今回のリリースでの新機能 69
このリリースでの変更点 70
問題 70
未解決の問題 70
解決済みの問題 71

第 21 章 2023 年 4 月 73
今回のリリースでの新機能 73
このリリースでの変更点 73
問題 74
未解決の問題 74
解決済みの問題 74

第 22 章 2023 年 3 月 75
今回のリリースでの新機能 75
このリリースでの変更点 75
問題 77
未解決の問題 77
解決済みの問題 77

第 23 章 2023 年 2 月 79
今回のリリースでの新機能 79
このリリースでの変更点 79
問題 80
未解決の問題 80
解決済みの問題 81

第 24 章 2023 年 1 月 83
今回のリリースでの新機能 83
このリリースでの変更点 83
問題 83
未解決の問題 84
解決済みの問題 84

第 III 部 : 2022 85

第 25 章 2022 年 12 月 87
今回のリリースでの新機能 87
このリリースでの変更点 87
問題 88
未解決の問題 89
解決済みの問題 89

第 26 章 2022 年 11 月 91
今回のリリースでの新機能 91
このリリースでの変更点 91
問題 92
解決済みの問題 93

第 27 章 2022 年 10 月 95
今回のリリースでの新機能 95
このリリースでの変更点 95
問題 96
未解決の問題 96
解決済みの問題 97

第 28 章 2022 年 9 月 99
今回のリリースでの新機能 99
このリリースでの変更点 100
問題 101
解決済みの問題 101

第 29 章 2022 年 8 月 103
今回のリリースでの新機能 103
このリリースでの変更点 103
問題 104

第 30 章 2022 年 7 月 107
今回のリリースでの新機能 107
このリリースでの変更点 108
問題 108

第 31 章 2022 年 6 月 109

今回のリリースでの新機能 109
このリリースでの変更点 110
問題 111
シスコのバグ検索ツール 111
未解決の問題 111
解決済みの問題 111

第 32 章 2022 年 5 月 113
今回のリリースでの新機能 113
このリリースでの変更点 114
問題 114
シスコのバグ検索ツール 115
未解決の問題 115
解決済みの問題 115

第 33 章 2022 年 4 月 117
今回のリリースでの新機能 117
このリリースでの変更点 117
問題 118
シスコのバグ検索ツール 119
未解決の問題 119
解決済みの問題 119

第 34 章 2022 年 3 月 121
今回のリリースでの新機能 121
このリリースでの変更点 121
問題 122
シスコのバグ検索ツール 122
未解決の問題 122
解決済みの問題 122

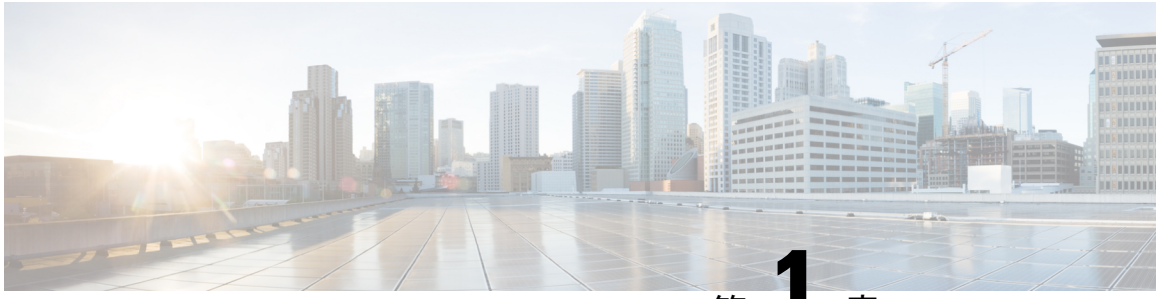
第 35 章 2022 年 2 月 123
今回のリリースでの新機能 123
このリリースでの変更点 123
問題 123
シスコのバグ検索ツール 124
未解決の問題 124
解決済みの問題 124

第 36 章 2022 年 1 月 125
今回のリリースでの新機能 125
このリリースでの変更点 125
問題 125
シスコのバグ検索ツール 126
未解決の問題 126
解決済みの問題 126

第 IV 部： 2021 以前のリリース 127

第 37 章 2021 以前のリリース 129
2021 以前のリリース 129

付録 A： サポート情報 131
関連資料 131
通信、サービス、およびその他の情報 132
シスコのバグ検索ツール 132
マニュアルに関するフィードバック 132



第 1 章

概要

（注） 2021 年以前の Cisco Spaces リリースノートについては、『Release Notes Archive for Cisco Spaces』を参照してください。

- Cisco Spaces の概要 （1 ページ）
- Cisco Spaces ライセンスパッケージ （3 ページ）
- Cisco Spaces：製品の機能 （4 ページ）

Cisco Spaces の概要

Cisco Spaces は、既存のワイヤレスに加え、Internet of Things（IoT）および Bluetooth Low Energy（BLE）インフラストラクチャを活用して、Cisco Spaces に組み込まれたアプリケーションを通じて実用的な知見を提供し、ビジネスの成果を促進する強力なロケーションサービスプラットフォームです。

この知見には次のものが含まれます。

- **位置分析**：時間や位置によるロケーションデータのスライスとダイスを行い、ネットワークに接続しているユーザーの行動をより詳細に可視化する機能を提供します。
- **Right Now**：物理的スペース内のリアルタイムの訪問者数（Wi-Fi に接続されているデバイスで識別）、およびこの数を履歴平均と比較する方法を提供します。**Right Now** レポートでは、使用されている認証方法に基づいて、1 人のユーザーに属する複数のデバイスを検出し、それらのデバイスを 1 人の訪問者に属するものとしてカウントできます。また、**Right Now** アプリは、お客様のロケーションに配置されたカメラ、およびこれらのカメラが Cisco Spaces クラウドに接続されているかどうかに基づいて、レポートを提供します。
- **ビジネスインサイト**：人々がお客様の物理ロケーションに訪れる頻度と、それらのロケーションに滞在する時間を測定する機能を提供します。このデータは、すべてのロケーションにわたり、月単位で比較評価されます。また、ロケーションのパフォーマンスを経時的、グループ別、または業界別に比較評価する機能も用意されています。

- **影響分析**：ネットワークに接続しているユーザーの行動に対する、特定の場所でのイベント、キャンペーン、レイアウト変更の影響を測定する機能を提供します。Cisco Spaces アプリケーションを使用して簡単に**イベント**を作成し、次の項目に基づいてその影響を測定できます。
  - 特定の場所でユーザーが費やした時間
  - イベントの**発生前**、**発生後**、**発生中**など、特定のタイムラインでの頻度

Cisco Spaces アプリケーションには、**キャプティブポータル**、**ロケーションペルソナ**、**エンゲージメント**など、カスタマーエクスペリエンス管理アプリが含まれており、お客様の物理ロケーションに顧客がいるときにリアルタイムで顧客とつながることができます。その他のアプリケーションとして、**アセットトラッキング**アプリ、IoT サービス（BLE）を管理および設定するためのサービスマネージャ、さらにはこのデータを抽出して他のエンタープライズシステムとの関連付けまたは統合を行うためのオープン API フレームワークもあります。

Cisco Spaces は、さまざまなロケーションベースのテクノロジーやインテリジェンスを通じて各種のサービスを利用できる単一のダッシュボードインターフェイスを備えています。また、Cisco Spaces では、お客様の物理的なビジネスロケーションへの訪問者とつながり、関係を深めることもできます。小売、製造、サービス業、医療、教育、金融など、さまざまな業界で使用できます。Cisco Spaces のアセットトラッキング アプリケーションは、お客様施設内の資産を監視および管理するためのソリューションを提供します。Cisco Spaces には、これらの知見をアクションに変えるためのさまざまなツールキット、アプリケーション、および API が用意されています。

Cisco Spaces では、パートナープログラムを通じて、さまざまな業種にわたるさまざまなパートナーアプリケーションにアクセスできます。

Cisco Spaces は、Cisco Catalyst、Cisco AireOS、および Cisco Meraki インフラストラクチャと互換性があります。

記載のサービスに加えて、Cisco Spaces のアプリは、COVID-19 のパンデミックによって増大したビジネス要件に対応できるように強化されています。COVID-19 に伴い重要性が増した特定の要件を満たすために、拡張機能が既存のアプリケーションに組み込まれており、新しいアプリケーションが追加されています。**影響分析**、**位置分析**、**行動メトリクス**、**Right Now** などのアプリの拡張機能を使用すると、ビジネスロケーションに対する COVID-19 の影響を分析し、適切なアクションを実行できます。たとえば、特定の場所のデバイス密度に基づくルールを作成し、その場所の人数が特定の数または密度（エリアあたりの人数）を超えた場合に自動的に通知を受けられるようになりました。また、**位置分析**アプリでは、組織内の同僚とエグゼクティブ サマリー レポートを共有することもできます。さらに、**行動メトリクス**アプリを使用して、個人またはグループのロケーションに関する COVID-19 ベースの傾向分析を実行できるようになりました。これにより、特定のビジネスロケーションを組織全体と比較したり、特定の業界と比較したりすることもできます。

Cisco Spaces の **Proximity Reporting** アプリでは、影響を受けるデバイスの位置履歴やデバイス近接履歴をすばやく確認できます。ユーザー ID または MAC アドレスに基づいて、過去 14 日間の建物内におけるデバイスの位置に関するレポートが、他のデバイスとの近接度とともに生成されます。レポートをエクスポートし、**共有**機能を使用して共有することもできます。

Proximity Reporting アプリケーションの詳細については、『Cisco Spaces Proximity Reporting App Configuration Guide』を参照してください。

同様に、**検出と位置特定**アプリを使用すると、デバイスを特定の数にまとめて、社会的距離のガイドラインに違反している可能性のあるエリアについてチェックし、報告することができます。**検出と位置特定**アプリの詳細については、『Cisco Spaces Detect and Locate Configuration Guide』[英語] を参照してください。

Cisco Spaces：**IoT サービス**は、Cisco Spaces 内のプラットフォームサービスで、シスコのワイヤレス インフラストラクチャを使用して IoT デバイスを要求、管理、および監視できます。IoT サービスは、複数のベンダー、フォームファクタ、テクノロジープロトコルにまたがって IoT デバイスを管理できるように設計されています。BLE は、IoT サービスを使用した管理に利用できる業界初の技術です。IoT サービスの詳細については、『Cisco Spaces IoT Services Configuration Guide』[英語] を参照してください。

Cisco Spaces では、サードパーティアプリ、つまり**パートナーアプリ**を Cisco Spaces に統合できます。サードパーティアプリは、Cisco Spaces ダッシュボードにパートナーシップアプリとして表示されます。

セットアップや構成を含む、Cisco Spaces の詳細については、『Cisco Spaces Configuration Guide』[英語] を参照してください。

Cisco Spaces ライセンスパッケージ

Cisco Spaces は、Cisco Spaces **ACT** ライセンス、Cisco Spaces **EXTEND** ライセンス、Cisco Spaces **UNLIMITED** ライセンスなど、さまざまなライセンスパッケージで使用できます。

アカウントで使用できる機能は、所有する Cisco Spaces ライセンスパッケージのタイプによって異なります。

（注） Cisco Spaces **ACT** および Cisco Spaces **UNLIMITED** ライセンス サブスクリプションには、Cisco Spaces のすべての機能が含まれています。

Cisco Spaces ライセンスに含まれる機能については、『Cisco Spaces Data Sheet』を参照してください。

Cisco Smart Licensing

シスコ スマート ライセンシングは、シスコ ポートフォリオ全体および組織全体でソフトウェアをより簡単かつ迅速に一貫して購入および管理できる柔軟なライセンスモデルです。また、これは安全です。ユーザーがアクセスできるものを制御できます。スマートライセンスを使用すると、次のことが可能になります。

- **簡単なアクティベーション**：スマートライセンスは、組織全体で使用できるソフトウェアライセンスのプールを確立します。PAK（製品アクティベーションキー）は不要です。
- **管理の統合**：My Cisco Entitlements（MCE）は、使いやすいポータルですべてのシスコ製品とサービスの完全なビューを提供します。

- **ライセンスの柔軟性**：ソフトウェアはハードウェアにノードロックされていないため、必要に応じてライセンスを簡単に使用および転送できます。

（注） スマートライセンスを使用するには、まず Cisco Software Central でスマートアカウントを設定する必要があります。

シスコのライセンスの詳細については、『Cisco Software Licensing Guide』を参照してください。

Cisco Spaces：製品の機能

Cisco Spaces ユニファイド ロケーション クラウドは、複数のセンサーとプロセスからの入力を取得し、データをフィルタ処理してクレンジングし、このデータに基づいて動作するツールキットを提供します。また、パートナー（独立系ソフトウェアベンダー、エンタープライズ ソフトウェア、およびビジネス成果を上げるためのソリューションパートナー）がこのデータにアクセスできるようにします。

表 *1*: その他の利点

可視性：ビジネスインサイト	拡張：パートナーサービスへ	処理：デジタル化ツールキットの活用
動作メトリック 人と資産が自分の資産内でどのように動作するか。	**パートナー アプリケーション センター** Cisco Spaces App Center を使用して、業種に重点を置いたロケーションベースのサービス アプリケーションを検出します	**キャプティブ ポータル** 訪問者を取得して識別し、企業のアイデンティティにマッピングします
位置分析 特定の場所および期間における行動パターンは何か。	**Partner Firehose API** 信頼性の高い、高品質のロケーション、環境、および訪問者データをパートナーに提供し、ユーザーのプライバシーとデータセキュリティを強力に実施します	**ロケーションペルソナ** 行動に基づいて訪問者をプロファイルおよびセグメント化します

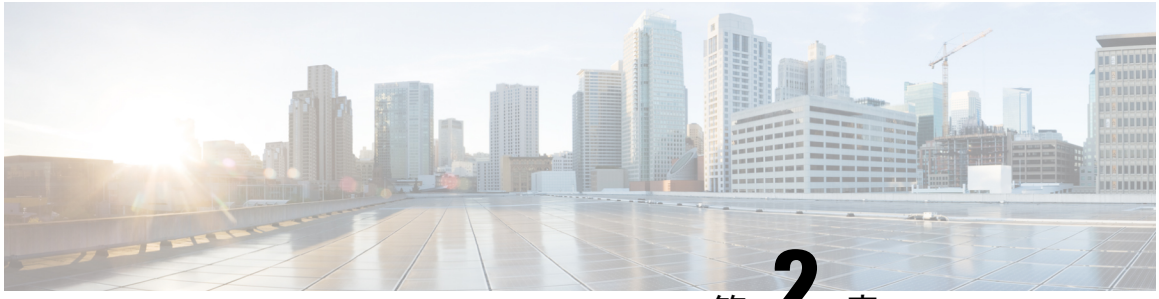
可視性：ビジネスインサイト	拡張：パートナーサービスへ	処理：デジタル化ツールキットの活用
ベンチマーク 業界や組織とパフォーマンスを比較します	**パートナーアプリケーションのモニタリング** オンプレミスのパートナーアプリケーションからのロケーションデータをエンドツーエンドでモニタリングします モニタリングおよびサポートダッシュボードにより、パートナーアプリケーションをモニタリングおよびサポートします	**エンゲージメント** 複数のチャネル（SMS、電子メール、アプリプッシュ、API トリガー、Webex Teams など）を介して訪問者と従業員に通知をトリガーします。
ロケーション階層 ビジネス分類をネットワークインフラストラクチャにマッピングします	**ストリーミングデータのエクスポート** ビッグデータ、分析、エンタープライズ アプリケーションへの取り込みをサポートするように最適化されたカスタマイズ可能なストリーミングエクスポート	**資産ロケータ** 資産の特定と監視、異常の検出
検出と検索（RSSI） クラウドベースの検出と検索、および RSSI ロケーション コンピューティング Cisco CMX 10 を使用したオンプレミスの検出と検索、および RSSI ロケーション コンピューティング	**エンタープライズ統合** エンタープライズ ソフトウェアと統合して、ロケーションデータと関連付けます	**検出と検索（詳細）** 1. クラウドベースの検出と検索、およびデバイスロケーション履歴による RSSI ロケーション コンピューティング 2. HyperLocation のサポートによるクラウドベースの検出と検索
Right Now（密度トリガーなし） スペース内の人とデバイスの数を監視します	**特殊な RTLS アプリケーションのサポート** クラウドおよびオンプレミスの Firehose API を使用した、特殊なパートナー RTLS アプリケーションのサポート	**Right Now（密度トリガーあり）** スペース内の人数を監視し、密度のしきい値に到達または超過したときに通知を送信します

可視性：ビジネスインサイト	拡張：パートナーサービスへ	処理：デジタル化ツールキットの活用
影響分析 ロケーション動作に対するイベント、キャンペーン、またはレイアウト変更の影響を測定します	**Cisco Spaces See 内のすべてを含む**	**プロキシミティレポート** ゾーン、フロア、建物、および他の人との接触があった可能性における健康上の問題の影響を要約します
Cisco Catalyst Center（旧 Cisco DNA Center） 統合 Cisco Spaces と Catalyst Center の間でフロアマップと階層の同期を維持し、IT の使用例のために Catalyst Center にロケーションデータを送信します		**屋内 IoT サービス** 大規模かつ大幅に低い TCO で IoT デバイスとアプリケーションを導入します。広範な BLE タグ、ビーコン、およびその他のセンサーを導入して使用例を拡大します
カメラメトリック Meraki Video カメラを使用して、リアルタイムの訪問者数の測定値として、足跡の数と履歴の傾向をレポートします。		**ハイパーロケーション/FastLocate** Cisco Spaces コネクタの使用
OpenRoaming 有線および Wi-Fi ネットワークへのセキュアでシームレスなゲストオンボーディング		**Cisco Spaces Extend 内のすべてを含む**

第 I 部

2024

- 2024 年 11 月 （9 ページ）
- 2024 年 10 月 （11 ページ）
- 2024 年 9 月 （15 ページ）
- 2024 年 8 月 （19 ページ）
- 2024 年 7 月 （21 ページ）
- 2024 年 6 月 （23 ページ）
- 2024 年 5 月 （27 ページ）
- 2024 年 4 月 （29 ページ）
- 2024 年 3 月 （31 ページ）
- 2024 年 2 月 （35 ページ）
- 2024 年 1 月 （39 ページ）



第 2 章

2024 年 11 月

- 今回のリリースでの新機能 （9 ページ）
- このリリースでの変更点 （9 ページ）
- 問題 （10 ページ）

今回のリリースでの新機能

Cisco Spaces ダッシュボードで次の新機能が導入されました。

Cisco Spaces に **Space Utilization** と呼ばれる新しいアプリケーションが導入されました。

Space Utilization アプリケーションは、これまでの物理スペースの使用状況に関するインサイトを提供し、物理スペースの使用を効果的に最適化するのに役立ちます。このアプリケーションでは、さまざまなチャートを使って、キャンパスや建物内にあるフロアや部屋などのスペースの占有率と使用率のメトリックを確認できます。こうした情報には、人数、フロア使用率（実際のキャパシティに対する人数の比率）、密度、人がその場所で過ごした時間、そして部屋の使用率に関するデータが含まれ、さまざまな側面から分析されます。これらのインサイトは、ネットワークと Wi-Fi インフラストラクチャに統合されたセンサーを通じて収集されたデータから得られるものです。

[Workspace] や [Education] 業種の Cisco Spaces アカウントでは、[Floor Occupancy] と [Room Occupancy] の両方のメトリックを使用できます。他のすべての業種のアカウントでは、デフォルトで [Room Occupancy] メトリックのみが表示されます。

詳細については、『Cisco Spaces: Space Utilization App Guide』[英語] を参照してください。

（注） **Space Utilization** アプリケーションは、**Cisco Spaces ACT** および **Cisco Spaces Unlimited** ライセンスをご契約のユーザーにご利用いただけます。

このリリースでの変更点

Cisco Spaces のこのリリースには拡張機能はありません。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。

未解決の問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースの未解決の問題を示します。

表 *2 : Cisco Spaces* の未解決の問題

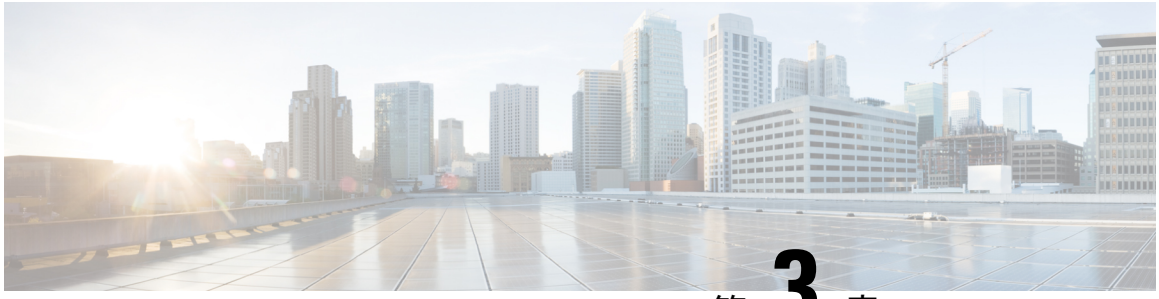
問題識別子	問題の説明
CSCwn19510	Webex トークンの再接続時に、ロケーションが [Locations & Maps] セクションにリストされず確認できない

解決済みの問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースで解決された問題を示します。

表 *3 : Cisco Spaces* の解決済みの問題

問題識別子	問題の説明
CSCwm88230	コネクタが HA VIP ペアリング中の場合、システムのアップグレード後に高可用性（HA）の状態が [STOP] になる
CSCwn27737	ACT をご利用のお客様の分割ライセンスが有効になっている場合に、環境分析データがロードされない



第 3 章

2024 年 10 月

- 今回のリリースでの新機能 （11 ページ）
- このリリースでの変更点 （11 ページ）
- 問題 （13 ページ）

今回のリリースでの新機能

Cisco Spaces ダッシュボードで次の新機能が導入されました。

Cisco Spaces では、キャプティブポータル、IoT Explorer、および環境分析アプリケーションの**分割ライセンス**のサポートが導入されています。このライセンスの変更により、これらのアプリケーションで上位階層のライセンス機能を体験できるようになります。

（注） 分割ライセンス機能は、Cisco Smart Software Manager（CSSM）システムに登録され、Cisco Spaces ダッシュボード でスマートライセンストークンを登録することで Cisco Spaces アカウントと統合されたアカウントでのみ使用できます。アカウントが CSSM に登録されていない場合は、アカウント管理者に連絡することをお勧めします。

このリリースでの変更点

Cisco Spaces では、次の機能強化が加えられました。

Cisco Spaces サポートプロセス

Cisco Spaces のサポートを要求するプロセスが拡張されました。Cisco Spaces サポートに連絡するには、Support Case Manager（SCM）を使用してケースを作成する必要があります。

サポートケースを作成するには、次の手順に従います。

1. Cisco Spaces にログインします。

2. Cisco Spaces ダッシュボード で、右上に表示される （[Support]）アイコンをクリックします。
3. [Support] をクリックします。[Support] スライドインペインが表示されます。
4. SCM を使用してケースを作成するには、[Open a Case] をクリックします。

有料アカウントには 2 つの異なる SCM リンクがあります。

- [General Support]：このリンクを使用して、破損時補償の問題をレポートします。
- [Configuration & Deployment Support]：このリンクを使用して、Cisco Spaces オンボーディングまたはユースケース導入支援をリクエストします。

無料アカウントの場合は、[General Support] リンクを使用して、一般サポートとオンボーディング/ユースケース導入支援ケースの両方を作成します。

（注） すべてのサポート連絡先の電子メールアドレスが廃止されました。

Cisco Spaces ソフトウェア開発キット

Google による API キーベースの機能の廃止に伴い、Google Cloud Messaging（GCM）を介して Firebase JSON を使用する新しいメソッドが Cisco Spaces ソフトウェア開発キット（SDK）（**[Cisco Spaces Dashboard]** > **[Configure]** > **[Cisco Spaces SDK]**）に導入されました。

このリリース以前は、Cisco Spaces ダッシュボードで API キーを設定する必要がありましたが、現在は Firebase JSON に変更されています。

Cisco Spaces はこれを利用して、SDK を使用して Android デバイスでプッシュ通知をトリガーします。

ロケーションとマップ：デジタルマップのワークフローの機能拡張

ロケーションとマップでは、次の拡張機能を使用できます。

フロアの選択ウィンドウ

フロアの選択ウィンドウは、ユーザーの労力を最小限に抑えるように再設計されました。新しい設計では、ユーザーが必要とするエントリの数が減り、各フロアのフロアレベル番号と短縮名が自動的に生成されるため、プロセスがより迅速かつ効率的になります。

ファイルのアップロードウィンドウ

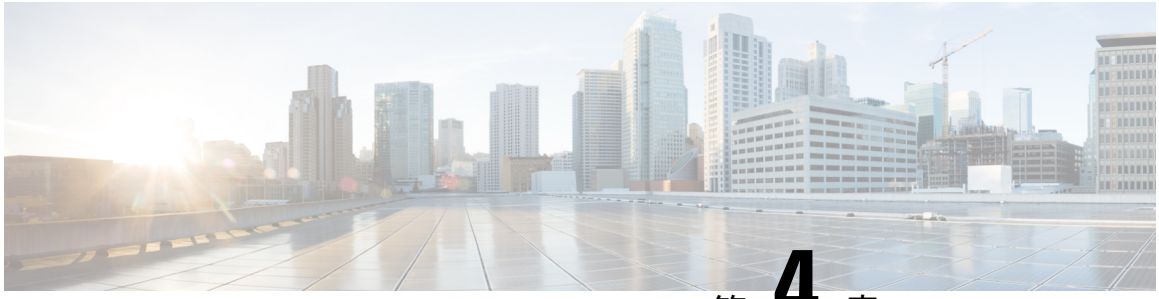
アップロードプロセスが強化され、効率が向上しました。複数のフロアのファイルを同時にアップロードし、それぞれを並行して処理できるようになりました。以前は 1 つのフロアのアップロード中に表示されていたフルページローダーが、各フロア用の個々のローダーインジケータに置き換えられ、各アップロードのステータスを明確に表示できるようになりました。

いずれかのフロアファイルにさらに時間が必要な場合は、他のアップロードの進行に影響を与えずに、その特定のアップロードをキャンセルするオプションがあります。これにより、正常なアップロードの管理が改善され、より効果的な時間割り当てが可能になります。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。

Cisco Spaces のこのリリースには、未解決または解決済みの問題はありません。



第 4 章

2024 年 9 月

- 今回のリリースでの新機能 （15 ページ）
- このリリースでの変更点 （16 ページ）
- 問題 （16 ページ）

今回のリリースでの新機能

Cisco Spaces で次の新機能が導入されました。

Cisco Spaces ライセンスパッケージの更新

Cisco Spaces ライセンスパッケージは、既存のライセンス **SEE**、**ACT EXTEND**、**SMART_OPERATIONS**、**SMART VENUES**、および **UNLIMITED** とともに、新しいライセンス **SMART_OPERATIONS_BASE** をサポートするように拡張されています。

SMART_OPERATIONS_BASE ライセンスは、一部の権限と次のアプリケーションを除き、現在の **SMART_OPERATIONS** ライセンスと同様に機能します。

- IoT Explorer、
- 資産ロケータ、および
- IoT サービス。

Cisco Meraki 統合ワークフロー

この機能を使用すると、Cisco Meraki ダッシュボードから Cisco Spaces をオンボードできます。新しいシームレスな統合フローにより、Cisco Meraki ダッシュボードと Cisco Spaces の間のマッピングを確立するための複数の手動手順が不要になります。これにより、API キーを手動でコピーして貼り付け、あるプラットフォームから別のプラットフォームに URL をポストする必要がなくなります。新しい統合により、Meraki ダッシュボードから数回クリックするだけで簡単に統合を開始できます。

詳細については、「Seamless Meraki Integration with Cisco Spaces」を参照してください。

セットアップ手順については、「Cisco Meraki Integration with Cisco Spaces」を参照してください。

Cisco Spaces：コネクタ 3 Service Manager リリース 3.1.4.11

次の新リリースが、Cisco Spaces に導入されています。

- SSHD サービスアルゴリズムを管理するための新しい共通 CLI が追加されました
- サービスのダウンロード遅延の問題が対処されています

このリリースでの変更点

Cisco Spaces ダッシュボードでは、次の機能強化が加えられました。

マップサービスの機能拡張の一環として、異なるサイトの下にある同じ名前の複数のキャンパスを Cisco Catalyst Center から Cisco Spaces ロケーション階層にインポートまたは同期できるようになりました。この機能拡張では、Cisco Catalyst Center 内のサイト間でキャンパスを移動する機能もサポートされ、これらの変更を Cisco Spaces ロケーション階層にシームレスにインポートして同期できます。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。

未解決の問題

Cisco Spaces のこのリリースに未解決の問題はありません。

解決済みの問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースで解決された問題を示します。

表 *4：Cisco Spaces* の解決済みの問題

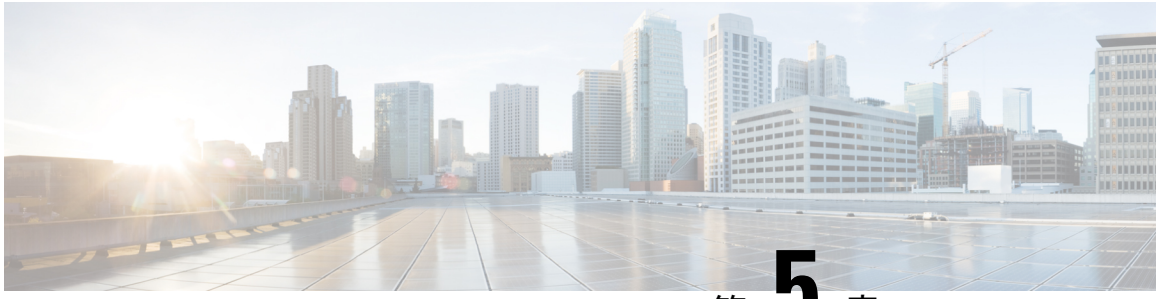
問題識別子	問題の説明
CSCwk97830	Hotspot 3.1：OpenRoaming プロファイルの更新時に Hotspot 3.1 の DNS 設定が削除される

このセクションでは、Cisco Spaces：コネクタ 3 Service Manager リリース 3.1.4.11 の新しいリリースで解決された問題を示します。

表 *5：Cisco Spaces*：コネクタ *3 Service Manager* リリース *3.1.4.11* で解決済みの問題

問題識別子	問題の説明
CSCwk38085	Cisco Spaces ダッシュボード UI または CLI からインラインアップグレードがトリガーされると、イメージのダウンロードが失敗する

問題識別子	問題の説明
CSCwk53840	コネクタ CLI で Docker サービスネットワークを変更しても、Cisco Spaces：コネクタ UI の変更が反映されない
CSCwm13219	**`Connectorctl show cert`** コマンドで、作成またはインポートされた証明書が表示されない



第 5 章

2024 年 8 月

- 今回のリリースでの新機能 （19 ページ）
- このリリースでの変更点 （19 ページ）
- 問題 （20 ページ）

今回のリリースでの新機能

次の新リリースが、Cisco Spaces に導入されています。

ロケーション サービス リリース 3.1.0.156

導入された新機能は次のとおりです。

- Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ、Cisco IOS XE 17.15.1 の UWB AP から AP レンジングのサポート
- Netconf 接続を含む Cisco Spaces：コネクタ 接続テストの機能拡張
- 次の問題が対処されています。
  - 大量のトラフィックがある場合に、重複接続と特殊なケースが原因で発生するデータドロップの問題
  - パブリッシャが原因で発生するローカル Firehose データドロップの問題
  - Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラのログイン情報が Cisco Spaces：コネクタ ログに出力されるセキュリティの問題
  - AP AnyLocate 機能の気圧データ収集の問題

このリリースでの変更点

Cisco Spaces ダッシュボード では、次の機能強化が加えられました。

このリリースでは、バックエンド操作を最適化することで Cisco Spaces のパフォーマンスが向上し、信頼性と効率が向上します。また、問題の修正に対処するためのプラットフォームライブラリのアップグレードも含まれています。

パフォーマンスの強化には、次の最適化が含まれます。

- マップサービス統合 API
- マップのインポートプロセス
- デジタル化に関する統計情報

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。

未解決の問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースの未解決の問題を示します。

表 *6 : Cisco Spaces* の未解決の問題

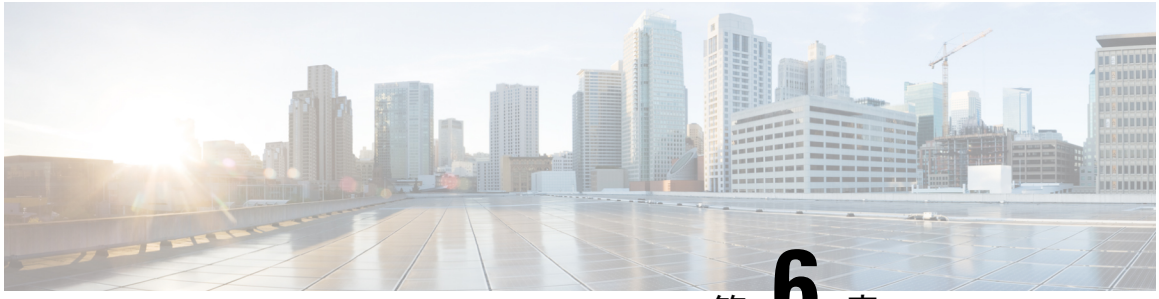
問題識別子	問題の説明
CSCwk97830	Hotspot 3.1：OpenRoaming プロファイルを更新すると、Hotspot 3.1 の Domain Name System（DNS）設定が削除されます。

解決済みの問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースで解決された問題を示します。

表 *7 : Cisco Spaces* の解決済みの問題

問題識別子	問題の説明
CSCwj71573	コントローラのステータスは、コネクタでは「Degraded」と表示されるが、コントローラでは「Active」と表示される



第 6 章

2024 年 7 月

- 今回のリリースでの新機能 （21 ページ）
- このリリースでの変更点 （21 ページ）
- 問題 （22 ページ）

今回のリリースでの新機能

次の新リリースが、Cisco Spaces に導入されています。

Cisco Spaces：コネクタ 3 Service Manager リリース 3.1.3.45

- サービスネットワーク設定の Docker サブネットマスクの検証が追加されました
- サービスのダウンロードの再試行が追加されました
- **Userauth password** コマンドの CLI 出力が拡張されました

詳細については、『Release Notes for Cisco Spaces: Connector』を参照してください。

このリリースでの変更点

Bluetooth Low Energy（BLE）デバイスのサポートは、Cisco Catalyst ワイヤレスネットワークでの既存のサポートに加えて、Cisco Meraki ネットワークで使用できるようになりました。

この機能拡張により、Cisco Spaces プラットフォームは Cisco Meraki を使用して BLE デバイスとシームレスに統合できます。この機能拡張により、Cisco Meraki BLE デバイスは、Firehose IoT テレメトリイベント、IoT Explorer、サイネージ、RightNow など、さまざまな Cisco Spaces アプリケーションでアクセスできるようになりました。

（注） この機能を動作させるには、Cisco Meraki ネットワークで特定の設定を実行し、Cisco Spaces へのデータ送信を有効にする必要があります。さらにサポートが必要な場合は、Cisco Spaces サポートチーム にお問い合わせください。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。

未解決の問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースの未解決の問題を示します。

表 *8 : Cisco Spaces* の未解決の問題

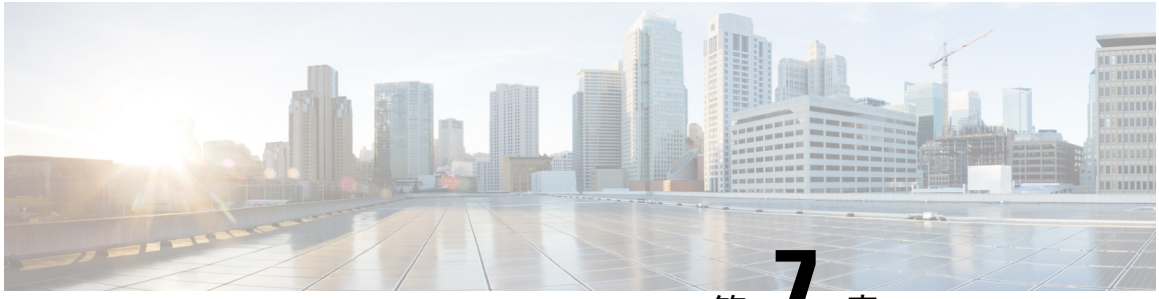
問題識別子	問題の説明
CSCwj71573	コントローラのステータスは、コネクタでは「Degraded」と表示されるが、コントローラでは「Active」と表示される

解決済みの問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースで解決された問題を示します。

表 *9 : Cisco Spaces* の解決済みの問題

問題識別子	問題の説明
CSCwk30773	ページが更新されるまで、新しく作成された位置分析レポートがリストページに表示されない
CSCwk12061	キャプティブ ポータル ランタイム：DC ページで誤ったデフォルト国がロードされる



第 7 章

2024 年 6 月

- 今回のリリースでの新機能 （23 ページ）
- このリリースでの変更点 （24 ページ）
- 問題 （25 ページ）

今回のリリースでの新機能

Cisco Spaces で次の機能が導入されました。

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces では、**ライセンスの分割**機能を使用して、ロケーションレベルでライセンスをアップグレードできます。

アカウントレベルのライセンスが下位の階層（SEE、EXTEND、SMART OPS、SMART VENUES など）にあるかどうかに関係なく、ロケーションレベルのライセンスを上位の階層（ACT または Unlimited）にアップグレードできます。この柔軟性は、**ロケーション階層**内のフロアレベルにまで拡張されます。[Location Hierarchy]（ベータ版 UI）にある [License Level Change] オプションを使用して、ライセンスタイプをアップグレードします。

Cisco Spaces では、**位置分析**と **RightNow** アプリケーションの分割ライセンスのサポートが導入されています。

このアップグレードにより、**位置分析**アプリケーションで上位の階層のライセンス機能と、**RightNow** アプリケーションの密度ルール機能を体験できます。

（注） **分割ライセンス**機能は、アカウントが **Cisco Smart Software Manager**（CSSM）システムに登録されている場合にのみサポートされます。アカウントが CSSM に登録されていない場合は、アカウント管理者に連絡することをお勧めします。

このリリースでの変更点

Cisco Spaces ダッシュボード では、次の機能強化が加えられました。

モバイル番号ベース認証の OTP 生成の改善

Cisco Spaces：キャプティブポータルでは、モバイル番号ベース認証用のワンタイムパスコード（OTP）の生成が更新され、以前の固定長の 4 桁が置き換えられ、4 ～ 9 桁の長さに対応するようになりました。

Cisco Spaces サポートチーム に連絡して、推奨 OTP 長を設定することをお勧めします。

部屋の使用状況レポート

Cisco Spaces：Space Manager は、既存の Webex センサータイプに加えて、パッシブ赤外線（PIR）センサー（有線またはワイヤレス）やポータルビームセンサーなどのセンサータイプを含むように拡張されています。

使用状況レポートにPIRまたはポータルビームセンサーの詳細を含める場合は、それぞれのセンサーをデフォルトのセンサーデバイスとして関連付ける必要があります。

（注） Cisco Spaces：Space Manager アプリケーションの **[Space Management]** > **[Occupancy]**エリアで、[Select Sensor] ドロップダウンリストから PIR またはポータルビームセンサーを選択して、デフォルトのセンサーデバイスを設定します。

OpenRoaming ホットスポットクライアントの機能拡張

ネットワーク設定プロトコル（NETCONF）のサポートは、ホットスポットクライアントバージョン v2.2.95 から利用できます。ただし、Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラで NETCONF を使用するには、バージョン 17.12 以降が必要です。NETCONF 機能を利用するには、Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ バージョン 17.12 にアップグレードすることをお勧めします。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。

未解決の問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースの未解決の問題を示します。

表 *10 : Cisco Spaces* の未解決の問題

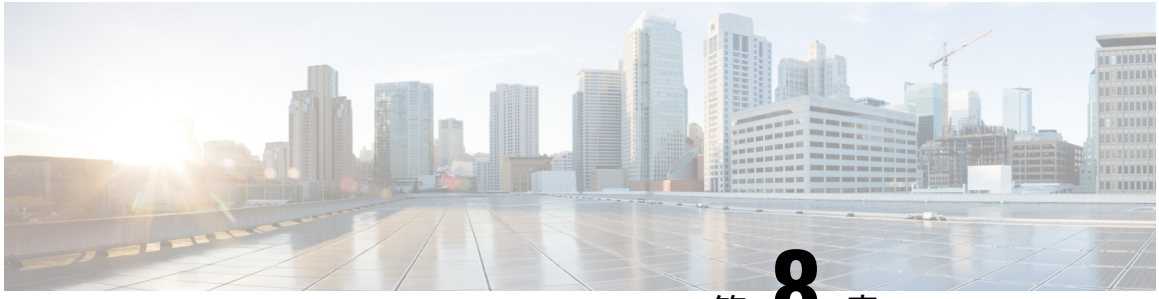
問題識別子	問題の説明
CSCwk30773	ページが更新されるまで、新しく作成された位置分析レポートがリストページに表示されない

解決済みの問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースで解決された問題を示します。

表 *11 : Cisco Spaces* の解決済みの問題

問題識別子	問題の説明
CSCwk21570	9800 の FlexConnect クライアントにレート制限 AVP がない場合、クライアントがトラフィックを渡さない
CSCwk35878	アセットトラッキングのユースケースを作成すると、内部サーバーエラーが返される
CSCwk12061	キャプティブ ポータル ランタイム：DC ページで誤ったデフォルト国がロードされる



第 8 章

2024 年 5 月

- 今回のリリースでの新機能 （27 ページ）
- このリリースでの変更点 （27 ページ）
- 問題 （27 ページ）

今回のリリースでの新機能

Cisco Spaces のこのリリースに新機能はありません。

このリリースでの変更点

このリリースでは、バックエンド操作を最適化することで Cisco Spaces のパフォーマンスが向上し、信頼性と効率が向上します。また、脆弱性に対処し、セキュリティを確保するためのプラットフォームライブラリのアップグレードも含まれています。

次の点でパフォーマンスが強化されています。

- Cisco Webex デバイス同期操作
- Cisco Spaces パートナーアプリのアクティブ化
- Cisco Catalyst Center フロアマップの更新

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。

未解決の問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースの未解決の問題を示します。

表 *12 : Cisco Spaces* の未解決の問題

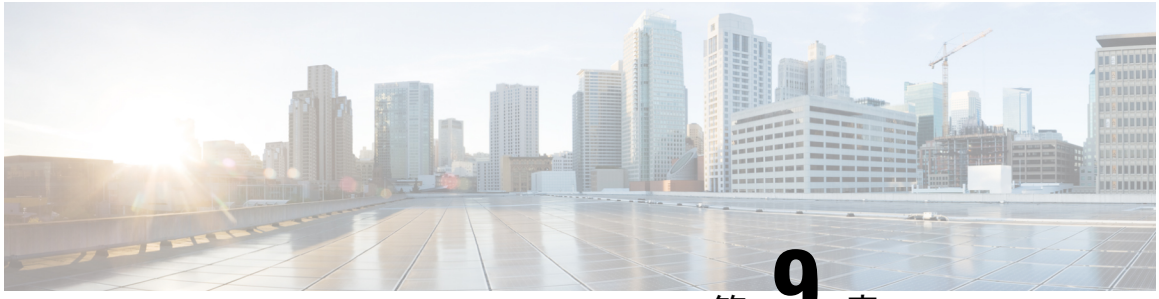
問題識別子	問題の説明
CSCwk12061	キャプティブ ポータル ランタイム：DC ページで誤ったデフォルト国がロードされる

解決済みの問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースで解決された問題を示します。

表 *13 : Cisco Spaces* の解決済みの問題

問題識別子	問題の説明
CSCwk12081	OpenRoaming の統計：同じ日付の「ユーザーごとの消費データ」チャートが表示されない
CSCwj07789	IoT Explorer：[View/Edit] オプションにより、重複アセットが作成される



第 9 章

2024 年 4 月

- 今回のリリースでの新機能 （29 ページ）
- このリリースでの変更点 （29 ページ）
- 問題 （30 ページ）

今回のリリースでの新機能

Cisco Spaces で次の機能が導入されました。

デジタルマップ

Cisco Spaces では、リッチマップのアップグレードバージョンである**デジタルマップ**が導入されています。使用可能なデジタルマップには、次の 2 つのバリエーションがあります。

- **STANDARD** マップ：会議室のサポートなし、または **Cisco Smart Workspaces** との統合なしの 2D フラットマップを表示します。
- **PRO** マップ：3D 可視化を表示し、**Cisco Smart Workspaces** で使用可能なすべての機能を含みます。これは、リッチマップと同様です。

（注） ACT/UNLIMITED ライセンスを持つロケーションは、PRO バリアントに排他的にアクセスでき、STANDARD バリアントには、SEE、EXTEND、SMART_OPERATIONS などの他のライセンスタイプで引き続きアクセスできます。

このリリースでの変更点

Cisco Spaces のこのリリースには拡張機能はありません。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。

未解決の問題

Cisco Spaces のこのリリースに未解決の問題はありません。

解決済みの問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースで解決された問題を示します。

表 *14 : Cisco Spaces* の解決済みの問題

問題識別子	問題の説明
CSCwj66876	アプリのアクティブ化：アプリのアクティベーションコールがアクティベーションイベントごとに重複している

第 10 章

2024 年 3 月

- 今回のリリースでの新機能 （31 ページ）
- このリリースでの変更点 （31 ページ）
- 問題 （33 ページ）

今回のリリースでの新機能

Cisco Spacesで次の機能が導入されました。

Cisco Spaces ダッシュボード

予定表 GUI 統合：Microsoft 365 予定表統合機能が Cisco Spaces で導入されました。この機能を活用して、Microsoft 365 予定表アカウントを Cisco Spaces アプリケーションに接続し、Cisco Spaces ダッシュボード **[Menu]** ☰ > **[Integrations]**で統合された予定表の詳細を表示します。

インポートされた予定表が Cisco Spaces：Space Manager アプリケーションに表示されます。

コネクタ 2 Docker バージョン 2.0.670

- Cisco Spaces：コネクタ の断続的なデータドロップの問題が修正されました。大量のトラフィックがシステムに入り、コネクタがデータチャネルを拡張する必要がある場合、コネクタで断続的なデータ損失が通知されます。
- デバイス（ワイヤレスコントローラなど）のログイン情報は、デバイスを追加するときに障害プロセスの一部として出力されます。この問題は修正され、デバイスの詳細は障害状態では表示されません。
- クラウドへのアクセスポイント数の同期の問題が修正されました。これは、ワイヤレスコントローラ からの Netconf 応答に特殊文字が含まれている特有のシナリオです。

このリリースでの変更点

Cisco Spaces では、次の機能強化が加えられました。

Cisco Spaces ダッシュボード

ロケーションとマップのサポート：**ロケーションとマップ**機能が強化され、Cisco Prime Infrastructure のロケーションを Cisco Catalyst Center のロケーションと（逆の場合も同じ）、単一のビジネス階層の下にマージできるようになりました。

この機能拡張の前は、Cisco Prime Infrastructure から Catalyst Center へのロケーションのマージ、およびその逆のマージはサポートされていませんでした。

Cisco Spaces：**Space Manager**：**部屋の使用状況レポート**

Cisco Spaces：Space Manager アプリケーションでは、[Occupancy Reports] セクションが次の機能で拡張されています。

- [Report Parameter] ウィンドウでは、[Rooms] レポートレベルオプションが有効になっていて、レポートの作成または編集中にルームを直接選択できます。
- 使用状況レポートは、CSV ではなく XLSX フォーマットでダウンロードできます。
- レポートを削除できるようになりました。省略記号アイコン（...）をクリックし、[Delete] をクリックして使用状況レポートを削除します。

Cisco Spaces：**IoT Explorer**：**スマート変数**

Cisco Spaces：IoT Explorer アプリケーションでは、[Rules] セクションが拡張され、新しいスマート変数 **DeviceName** が含まれるようになりました。このスマート変数を使用して、電子メール、テキストメッセージ（SMS）、および Cisco Webex 通知をトリガーするときに、[Location Name]、[MAC Address]、[URL] などの他の変数とともにデバイス名をメッセージに含めます。

Cisco Spaces：**キャプティブポータル**：**アクセスコードマネージャ**

Cisco Spaces：キャプティブポータル アプリケーションでは、**[Settings]** > **[Access Code Templates]** タブが拡張され、[Enable Access Code Template] チェックボックスが含まれるようになりました。

[Enable Access Code Template] チェックボックスをオンにして、[Create Template] をクリックし、選択したロケーションの定義済みテンプレートを作成します。このオプションが有効になっている場合は、最初にテンプレート（ロケーションで使用可能）を選択してから、Cisco Spaces：キャプティブポータル アプリケーションの [Access Code] セクションで使い捨てアクセスコードを作成します。

（注） Cisco Spaces：キャプティブポータル アプリケーションの **[Settings]** > **[Access Code Templates]** タブで [Enable Access Code Template] チェックボックスが無効になっている場合、現在のアクセスコード作成プロセスに変更はありません。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。

未解決の問題

Cisco Spaces のこのリリースに未解決の問題はありません。

解決済みの問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースで解決された問題を示します。

表 *15 : Cisco Spaces* の解決済みの問題

問題識別子	問題の説明
CSCwi76073	関連付けられたサイネージを削除しても、ロケーションを削除できない。
CSCwi11258	マップサービスからの建物の削除に失敗する

第 11 章

2024 年 2 月

- 今回のリリースでの新機能 （35 ページ）
- このリリースでの変更点 （35 ページ）
- 問題 （37 ページ）

今回のリリースでの新機能

次の新リリースが、Cisco Spaces に導入されています。

ローカル Firehose サービスリリース 3.1.0.65

導入された新機能は次のとおりです。

- ローカル Firehose サービスは、Cisco Spaces：コネクタ 3 でローカル Firehose チャンネル（gRPC）を開き、Aeroscout ロケーション/BLE タグのロケーション更新を送信します。
- Cisco Spaces パートナーアプリケーションを使用して、gRPC（リモートプロシージャコール）チャンネルを介した位置の受信信号強度インジケータ（RSSI）とモノのインターネット（IoT）の Bluetooth Low Energy（BLE）RSSI 測定値を使用します。
- Stanley Aeroscout Location Engine は、Cisco Spaces：コネクタ 3.x と正常に統合されています。詳細については、Securitas ドキュメント KB1100 の記事を参照してください。

（注） 詳細については、『Cisco Spaces: Connector 3 Configuration Guide』を参照してください。

このリリースでの変更点

Cisco Spaces では、次の機能強化が加えられました。

Right Now アプリケーション

Right Now アプリケーションの有線訪問者数は、毎日午前 3 時に訪問者数をゼロに自動的にリセットするように拡張され、ロケーション階層のタイムゾーン設定との同期が確保されます。

Cisco Spaces：ロケーション サービス リリース 3.1.0.127

Docker リリースは、**AP AnyLocate** の機能拡張に焦点を当てています。

- Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ Cisco IOS XE 17.13.1 リリースの AP の気圧データの問題は解決されました。この機能拡張により、**AP AnyLocate** 機能を使用して AP を配置する際の AP の自動クラスタリングが改善されます。
- 現在、この問題は Cisco IOS XE 17.12.3 リリースで対処されています。
- **AFC 標準電力モード**設定が有効になっている 6 GHz 無線の信頼できない AP FTM レンジング測定に関する問題は、次の Catalyst 9800 コントローラ リリースで対処されています。
  - Cisco IOS XE Dublin 17.12.1
  - Cisco IOS XE Dublin 17.12.2
  - Cisco IOS XE 17.13.1

（注）

- CSCwh98522 は Catalyst 9800 コントローラ の問題を追跡します。
- この問題は、Catalyst 9800 コントローラ Cisco IOS XE Dublin 17.12.1 または 17.12.2 から Cisco IOS XE Dublin 17.12.3 へのアップグレードには影響しません。

Cisco Spaces：コネクタ 3 Service Manager リリース 3.1.2.45

Service Manager では、次の機能強化が加えられました。

- Docker ネットワークの変更をサポートする新しい **connectorctl dockersubnet** コマンド。詳細については、『Cisco Spaces: Connector3 Command Reference Guide』を参照してください。
- サービスがダウンしているかどうかを確認するための NTP サービスモニタリングおよび自動リカバリサービスが追加されました。
- 高可用性のための強化されたキープアライブイベント通知とハンドラ
- **MAC ユーザー名ソルト**の空白値を除外するための強化されたプライバシー設定
- パスワードのリセット中の監査ログの権限の問題が対処されています。
- Amazon Web Service（AWS）の AMI コネクタインスタンスが拡張され、サービスとともにパブリック IP アドレスを共有できるようになりました。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。

未解決の問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースの未解決の問題を示します。

表 *16 : Cisco Spaces* の未解決の問題

問題識別子	問題の説明
CSCwi11258	マップサービスからの建物の削除に失敗する

解決済みの問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースで解決された問題を示します。

表 *17 : Cisco Spaces* の解決済みの問題

問題識別子	問題の説明
CSCwj13626	使用状況レポート：ユーザーがレポート内のロケーションを編集すると、リストページがロードされないことがある
CSCwj13870	正しい OTP を入力しても、「Invalid OTP」エラーが発生する
CSCwi92266	RADIUS サーバーからの応答がない。AAA タイムアウトがコントローラ側で受信されている

第 12 章

2024 年 1 月

- 今回のリリースでの新機能 （39 ページ）
- このリリースでの変更点 （41 ページ）
- 問題 （41 ページ）

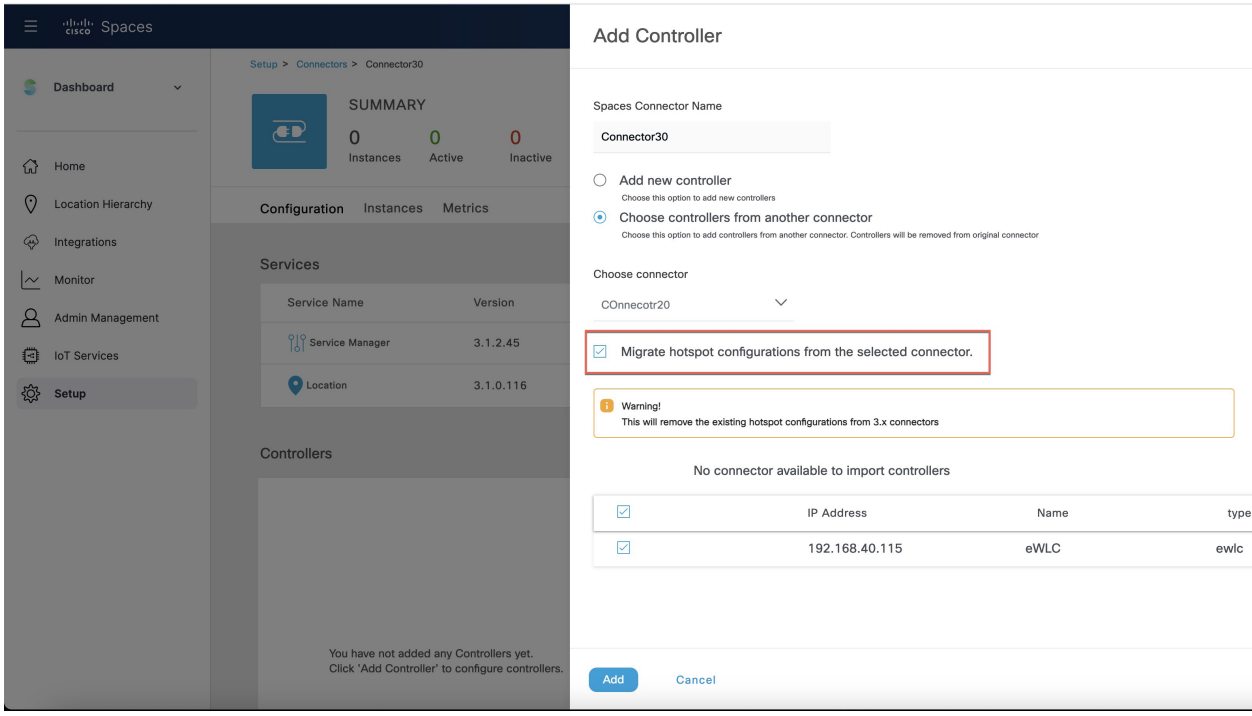
今回のリリースでの新機能

Cisco Spaces で次の機能が導入されました。

Cisco Spaces：コネクタ リリース 3 の更新

Cisco Spaces は、ホットスポットサービス設定を移行する機能を提供するようになりました。移行すると、明示的に有効になっていない場合、Cisco Spaces：コネクタ 3.x でホットスポットがサービスとして有効になります。

[Add Controller] ウィンドウで、[Migrate hotspot configurations from the selected connector] チェックボックスをオンにして、必要なすべての設定を 2.x コネクタから 3.x コネクタに移行します。



詳細については、「Migrate from Connector 2.x to Connector 3」を参照してください。

（注）

- [Migrate hotspot configurations from the selected connector] チェックボックスは、次の場合にのみ表示されます。
  - [Choose controllers from another connector] オプションを選択して、コネクタ設定を使用してコントローラを追加
  - [Choose Connector] ドロップダウンリストから、ホットスポット設定が有効になっているコネクタを選択
- Cisco Spaces：コネクタ 2.x から Cisco Spaces：コネクタ 3.x に移行する場合：
  - 以前の Cisco Spaces：コネクタ 2.x インスタンスではなく、新しい Cisco Spaces：コネクタ 3.x インスタンスを指すようにコントローラ設定を移行します。
  - Cisco Spaces は、新しい 3.x コネクタに対して同じ動作中のコネクタ 2.x ホットスポット設定を自動的に有効にして設定します。
  - Cisco Spaces は、現在動作している 2.x コネクタのホットスポット/openroaming 構成を自動的に無効化しません。

このリリースでの変更点

Cisco Spaces のこのリリースには拡張機能はありません。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。

未解決の問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースの未解決の問題を示します。

表 *18 : Cisco Spaces* の未解決の問題

問題識別子	問題の説明
CSCwi11258	マップサービスからの建物の削除に失敗する

解決済みの問題

Cisco Spaces のこのリリースに解決済みの問題はありません。

第 II 部

2023

- 2023 年 12 月 （45 ページ）
- 2023 年 11 月 （49 ページ）
- 2023 年 10 月 （53 ページ）
- 2023 年 9 月 （57 ページ）
- 2023 年 8 月 （59 ページ）
- 2023 年 7 月 （63 ページ）
- 2023 年 6 月 （67 ページ）
- 2023 年 5 月 （69 ページ）
- 2023 年 4 月 （73 ページ）
- 2023 年 3 月 （75 ページ）
- 2023 年 2 月 （79 ページ）
- 2023 年 1 月 （83 ページ）

第 13 章

2023 年 12 月

- 今回のリリースでの新機能 （45 ページ）
- このリリースでの変更点 （46 ページ）
- 問題 （46 ページ）

今回のリリースでの新機能

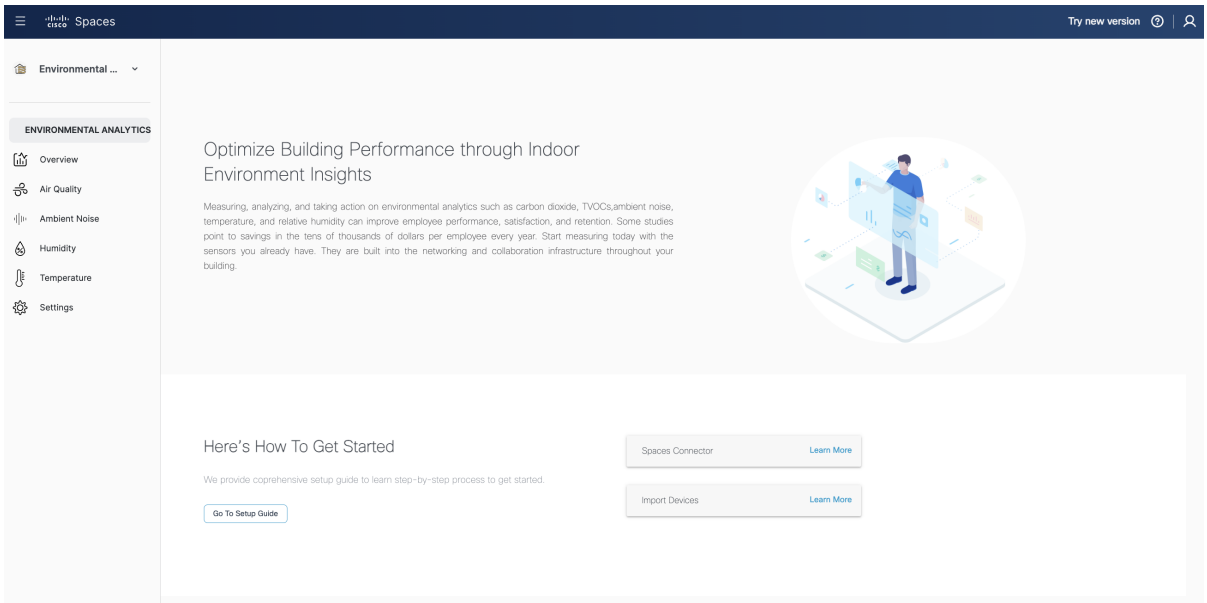
Cisco Spaces で次の機能が導入されました。

Cisco Spaces：環境分析アプリケーション

Cisco Spaces 環境分析アプリケーションを使用すると、屋内環境のインサイトとメトリックを利用して、建物のパフォーマンスを最適化できます。これらのインサイトは、ネットワーク内の建物全体のネットワーキングおよびコラボレーションインフラストラクチャに統合されたセンサーから得られます。

環境分析アプリケーションを使用して、二酸化炭素レベル、総揮発性有機化合物（TVOC）、周囲ノイズ、温度、相対湿度などの重要な環境メトリックを測定および評価します。この貴重なデータを利用して、必要な是正措置を講じて、最適な屋内条件を確保し、施設内の全体的な環境品質を向上させます。

詳細については、『Cisco Spaces: Environmental Analytics App Configuration Guide』を参照してください。

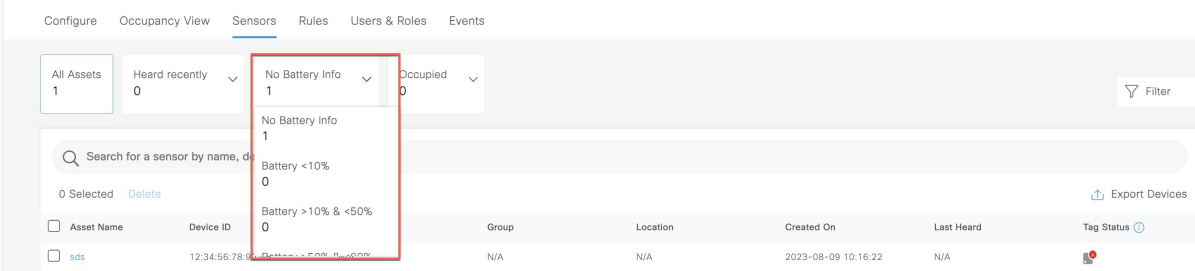


このリリースでの変更点

Cisco Spaces では、次の機能強化が加えられました。

Cisco Spaces：**IoT Explorer アプリ**

- **イベントのエクスポート機能**：**イベントのエクスポート**機能が拡張され、イベントの完全なセットをエクスポートできるようになりました。この機能拡張の前は、イベントのエクスポートは 1,000 イベントに制限されていました。
- **バッテリ情報フィルタオプション**：[Assests] および [Sensors] タブで、**バッテリ情報**フィルタオプションが拡張され、バッテリのパーセンテージ範囲に基づくより多くのフィルタリングオプションが含まれるようになりました。



問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。

未解決の問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースの未解決の問題を示します。

表 *19 : Cisco Spaces* の未解決の問題

問題識別子	問題の説明
CSCwi11258	マップサービスからの建物の削除に失敗する

解決済みの問題

Cisco Spaces のこのリリースに解決済みの問題はありません。

第 14 章

2023 年 11 月

- 今回のリリースでの新機能 （49 ページ）
- このリリースでの変更点 （50 ページ）
- 問題 （51 ページ）

今回のリリースでの新機能

Cisco Spaces ダッシュボード に次の機能が導入されました。

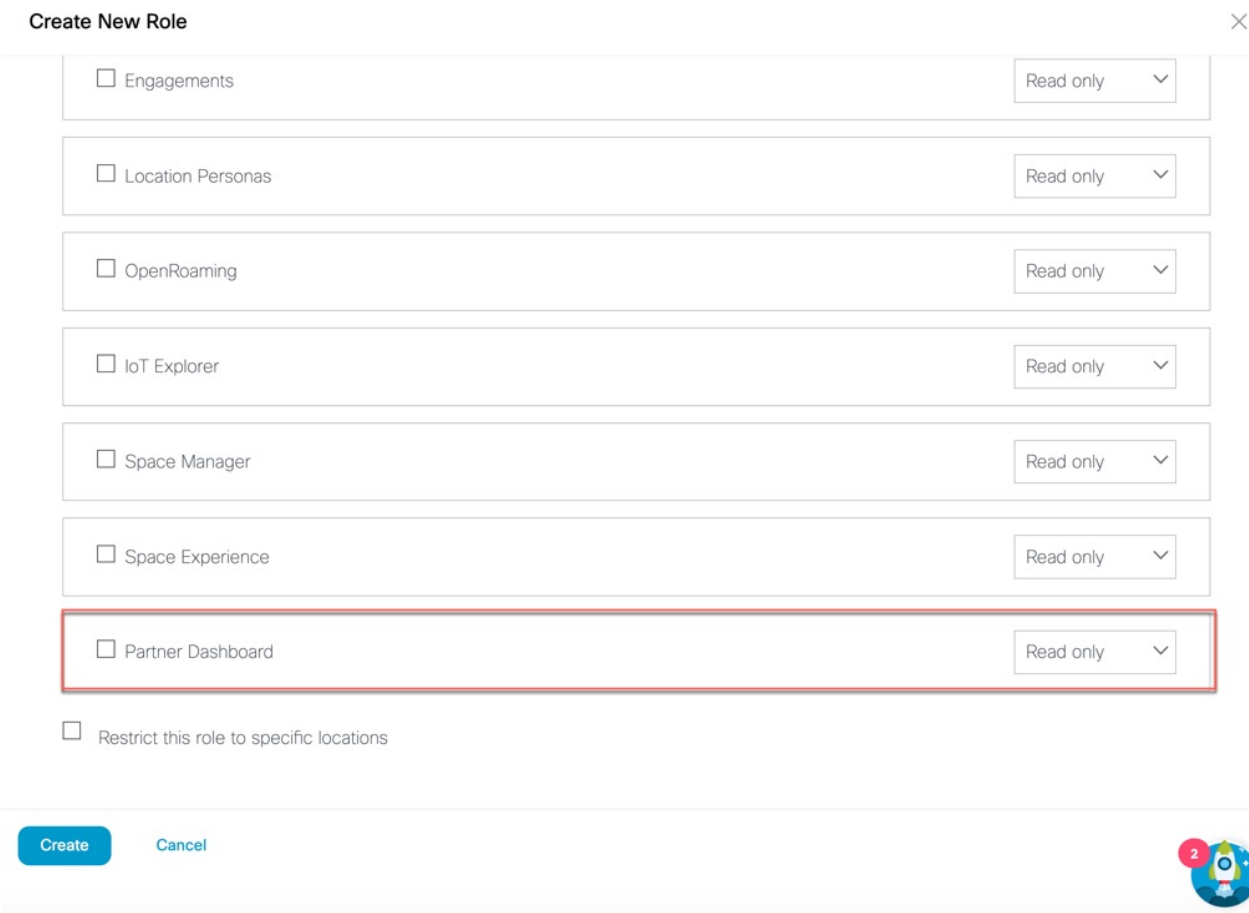
Cisco Spaces：Space Manager アプリケーション

部屋の使用状況レポートは、Cisco Spaces：Space Manager アプリで導入された新機能です。室内にいる人の数を含むデータ（15分ごとに集約）を含む占有率レポートを生成できるようになりました。この機能により、15 分、30 分、60 分など、任意のレポート時間間隔に基づいて人数カウントデータを柔軟にダウンロードして分類できます。

管理者管理

Cisco Spaces - パートナーダッシュボード のロールベース アクセス コントロール（RBAC）サポートが Cisco Spaces に導入されました。[Admin Management] の [Roles] タブに、[Read/Write] と [Read Only] の権限オプションを持つ新しいアプリケーションオプション [Partner Dashboard] が追加されました。Cisco Spaces ダッシュボード から直接テナントに Cisco Spaces - パートナーダッシュボード アクセスを提供するには、このロールを使用します。

（注） このリリース以前は、Cisco Spaces - パートナーダッシュボード の RBAC は Cisco Spaces - パートナーダッシュボード の [User Management] セクションでのみサポートされていました。



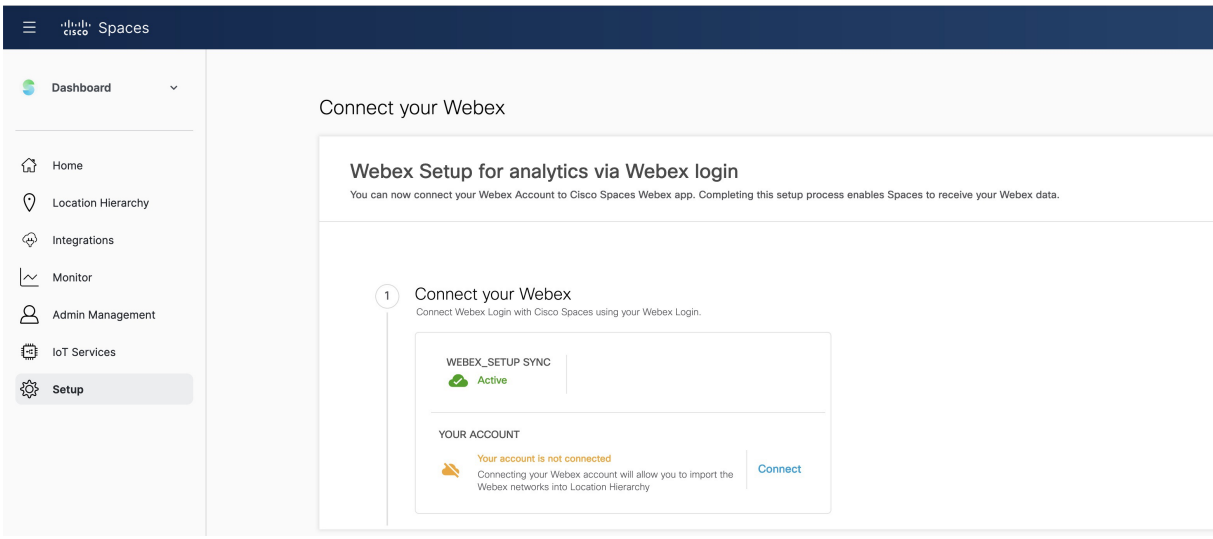
このリリースでの変更点

Cisco Spaces ダッシュボード では、次の機能強化が加えられました。

Cisco Webex 同期ステータス

[Setup] > **[Webex]**では、ログインしているすべてのユーザーの [WEBEX_SETUP SYNC] ステータスが表示されるように拡張されました。 Cisco Webex ネットワークを [Location Hierarchy] にインポートしているときに、少なくとも 1 人のユーザーが自分の Cisco Spaces アカウントを Cisco Webex アカウントに正常に接続した場合、 Cisco Webex 同期ステータスは、特定のテナント（アカウント）内のすべてのアクティブユーザーに対して [Active] と表示されます。

図 *1 : Cisco Webex* 同期ステータス



Cisco Spaces：IoT Explorer アプリ

IoT Explorer アプリケーションでは、**温度のモニタリング**および **アセットトラッキング**のユースケースで、プロファイルが関連付けられたランダム MAC Bluetooth Low Energy（BLE）デバイスを処理および表示するためのサポートが追加されました。

（注） このリリース以前は、IoT Explorer アプリケーションはランダム MAC BLE デバイスの処理をサポートしていませんでした。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。

未解決の問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースの未解決の問題を示します。

表 *20 : Cisco Spaces* の未解決の問題

問題識別子	問題の説明
CSCwi11258	マップサービスからの建物の削除に失敗する

解決済みの問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースで解決された問題を示します。

表 *21 : Cisco Spaces* の解決済みの問題

問題識別子	問題の説明
CSCwi40989	ユーザーデータの詳細がデバイス関連付けイベントの一部として送信されない
CSCwi24984	AppCenter：AppActivation の間、ロケーション階層の選択が多い場合に、[Next] ボタンが表示されない
CSCwi45279	デジタルサイネージ：トークンの有効期限が切れると、リッチマップが Webex デバイスにロードされない

第 15 章

2023 年 10 月

- 今回のリリースでの新機能 （53 ページ）
- このリリースでの変更点 （53 ページ）
- 問題 （55 ページ）

今回のリリースでの新機能

Cisco Spaces のこのリリースに新機能はありません。

このリリースでの変更点

Cisco Spaces では、次の機能強化が加えられました。

Cisco Spaces ダッシュボード

ユーザーアカウントの国情報の更新：ログインプロセス中に、2022 年 4 月より前にオンボードしていた Cisco Spaces ユーザーに対して、国情報を更新するためのポップアップウィンドウが表示されます。必要な情報を入力するか、[Skip & Continue] をクリックしてスキップし、Cisco Spaces ダッシュボードに進みます。情報を入力すると、その後のログイン時に、再度ポップアップウィンドウにプロンプトが表示されることはありません。

Camera Message Queuing Telemetry Transport（MQTT）ブローカの認証サポート：Cisco Meraki カメラから MQTT 更新を受信するためのパスワードベースの認証をサポートするように Cisco Spaces クラウドが更新されました。バックグラウンド ネットワーク同期プロセスにより、認証の詳細が Cisco Meraki ダッシュボードで自動的に更新されます。

Cisco Spaces：IoT Explorer アプリ

IoT Explorer アプリケーションが強化され、次の領域で安定性の修正が含まれるようになりました。

- **デバイスリスト**：すべてのユースケースが拡張され、ロケーション階層のインポートプロセス中に **Last Heard** ステータスを持たないデバイスが表示されるようになりました。

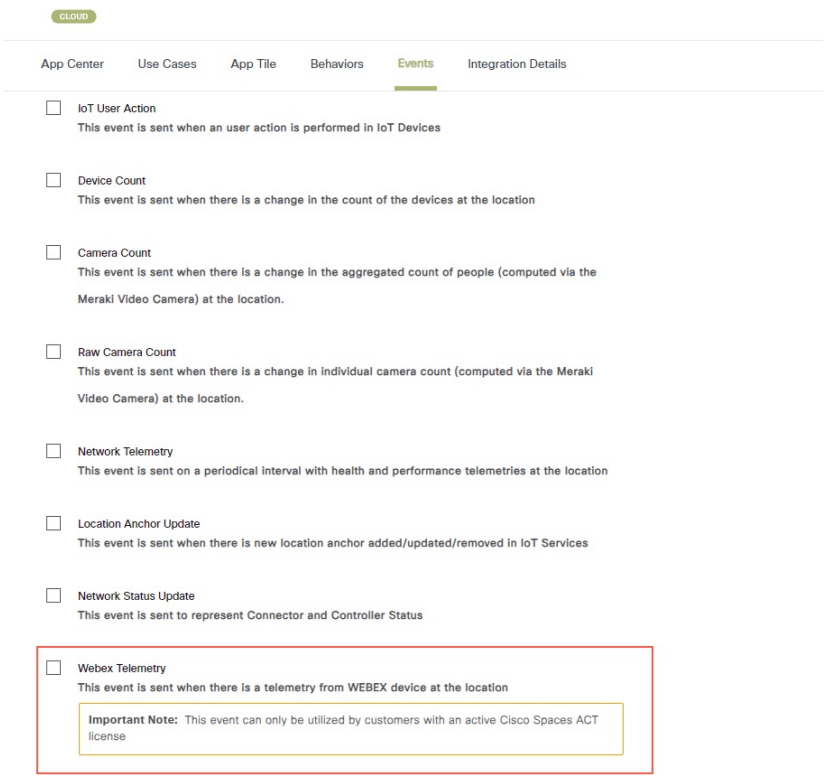
- **アセットロケーション履歴**：アセットトラッキングのユースケースが拡張され、ゾーンレベルでアセットを追跡できるようになりました。この変更は、[Asset Details] ウィンドウで確認できます。
- **ルールイベント**：アセットトラッキングのユースケースで、**アセットが検知されない**ルールで追跡されるアセットには、検知されるまで、**N/A** の終了タイムスタンプが割り当てられます。このルールを削除しても、このルールの下のイベントの終了タイムスタンプは **N/A** のままです。この機能拡張により、これらのイベントはイベントリストから削除されるようになりました。

（注） 安定化プロセスの一環として、Cisco IoT Explorer アプリケーション全体に軽微な修正が実装されています。

Cisco Spaces パートナーダッシュボード

Webex テレメトリイベントタイプは、[Events] タブで使用できます。**Webex テレメトリ**イベントは、**Telepresence** イベントタイプの拡張バージョンです。パートナーは、アプリケーションの作成中にこのイベントタイプを使用でき、特定の場所で Cisco Webex デバイスからテレメトリが更新されるとトリガーされます。

図 *2 : [Events]* タブ



（注） **Webex テレメトリ**イベントタイプは、アクティブな Cisco Spaces **ACT** ライセンスでのみ使用できます。

[Events] タブの **Telepresence** イベントタイプは廃止され、新しいパートナー アプリケーション ユーザーは使用できません。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。

未解決の問題

Cisco Spaces のこのリリースに未解決の問題はありません。

解決済みの問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースで解決された問題を示します。

表 *22 : Cisco Spaces* の解決済みの問題

問題識別子	問題の説明
CSCwh84725	**Cisco Detect and Locate** でフロアマップを表示できない

第 16 章

2023 年 9 月

- 今回のリリースでの新機能 （57 ページ）
- このリリースでの変更点 （58 ページ）
- 問題 （58 ページ）

今回のリリースでの新機能

Cisco Spaces

Cisco Spaces に次の機能が導入されました。

Cisco Meraki ネットワーク：ゾーンロケーションの作成のサポート

ロケーション階層 2.0（ベータ版 UI）では、Cisco Meraki ネットワークの下にフロアロケーションのポリゴンゾーンを作成できるようになりました。フロアマップにポリゴンゾーンを作成するには、[Map] タブのフロアマップビューで使用できる**ポリゴンツール**（ ）を使用します。作成された新しいポリゴンゾーンは、ロケーション階層とロケーション階層 2.0 の両方の下に表示されます。

詳細については、「Create a Zone for a Floor Location」を参照してください。

このリリース以前は、ポリゴンゾーンの作成は **Cisco CMX** ロケーションでのみサポートされていました。

Cisco Spaces：IoT Explorer アプリケーション

IoT Explorer アプリケーションでは、**アセットトラッキングのユースケース**で関連付けられたランダム MAC Wi-Fi デバイスを処理および表示するためのサポートが追加されました。

Cisco Spaces：コネクタ Services Manager

Cisco Spaces：コネクタ Services Manager に次の機能が導入されました。

- **高可用性**：Docker コンテナの CPU/メモリ使用率が高い場合のフェールオーバー最適化の処理に関する機能拡張。詳細については、「高可用性」を参照してください。

- **テクニカルサポート**：Cisco Spaces：コネクタ ローカル GUI からの障害対応用のログダウンロードオプション。
- **コマンド**：プロキシ証明書の検証用の新しいコマンドが導入されました。

このリリースでの変更点

Cisco Spaces のこのリリースには拡張機能はありません。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。

このリリースには、解決済みの問題または未解決の問題はありません。

第 17 章

2023 年 8 月

- 今回のリリースでの新機能 （59 ページ）
- このリリースでの変更点 （59 ページ）
- 問題 （60 ページ）

今回のリリースでの新機能

Cisco Spaces で次の機能が導入されました。

アクセスポイント自動ロケーション

アクセスポイント自動ロケーションソリューションは、さまざまなレンジングテクノロジーとアルゴリズムを組み合わせることで、グローバル座標で AP を効果的に自己位置特定するのに役立ちます。AP 自動ロケーション ソリューションは、Cisco Spaces のデジタルマップ上で AP を自動的に特定します。このソリューションは、Fine Timing Measurement（FTM）と全地球航法衛星システム（GNSS）（利用可能な場合）を活用して、正確で自動化された最新の AP ロケーションを提供します。

詳細については、『Cisco Spaces Configuration Guide』の「Setup」の章にある「Set Up Access Point Auto Location」のセクションを参照してください。

このリリースでの変更点

Cisco Spaces ダッシュボード では、次の機能強化が加えられました。

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces GUI は、Magnetic 設計の実装を受け入れるように拡張されています。Magnetic 設計は、固定されたヘッダーと折りたたみ可能な左側のナビゲーションウィンドウに従います。

Cisco Spaces ダッシュボード ウィンドウが拡張され、[Dashboard] ドロップダウンリスト（左側のナビゲーションウィンドウ）が追加されて、Cisco Spaces ライセンスに関連付けられている使用可能なアプリケーションを検索して表示できます。[Dashboard] ドロップダウンリストを使用して、選択したアプリケーションを選択して移動します。**Cisco Spaces** [Home] ウィンドウに戻るには、ドロップダウンリストから [Dashboard] オプションを選択します。

表 *23 : 2023* 年 *8* 月より前および後の *GUI* の変更

Before	After
アプリケーションを検索するオプションは、右上隅にありました。	このアプリケーション検索オプションは、[Dashboard] ドロップダウンリストの左側のナビゲーションウィンドウで使用できます。
消費されたライセンスユニット（アクティブ AP）数に関連する情報が右上隅に表示されました。	ライセンス情報は、**[My Account]** > **[License Information]** > **[License Units Consumed]**で確認できます。

Cisco Spaces：**IoT Explorer** アプリケーション

IoT Explorer アプリケーションは、MAC 組織固有識別子（OUI）標準に準拠するデバイスと、最初の出現から 24 時間後も更新を送信し続けるデバイスのみをフィルタ処理するように拡張されています。

パートナー ダッシュボード

Cisco Spaces - パートナーダッシュボード GUI は、Magnetic 設計の実装をサポートするように拡張されています。GUI の変更は、上部のヘッダーパネルと左側のナビゲーションウィンドウに実装されています。

[Integration Details] タブの [Pull Channels] オプションは、WEB_SOCKET エンドポイントをサポートするように拡張されています。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの問題」と「未解決の問題」の項に、このリリースの問題が一覧表示されています。

未解決の問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースの未解決の問題を示します。

表 *24 : Cisco Spaces* の未解決の問題

問題識別子	問題の説明
CSCwf47895	コネクタの下のコントローラの IP アドレスを使用して検索が機能しない

解決済みの問題

ここでは、Cisco Spaces のこのリリースで解決された問題を示します。

表 *25 : Cisco Spaces* の解決済みの問題

問題識別子	問題の説明
CSCwf16696	アセットトラッキング：ユースケースにインポートするために表示されるアセットの数が、使用可能なアセットよりも多い
CSCwf28503	[Campus Name] をクリックしてビルディングリストに移動する際の遅延
CSCwh02942	D&L デバイスの場所に影響を与える包含リージョンをオフにすることなく、マップサービスがマップイベントを送信する
CSCwd41670	Catalyst Center と Cisco Spaces の間で大きなマップファイルの同期にサポートが必要

第 18 章

2023 年 7 月

- 今回のリリースでの新機能 （63 ページ）
- このリリースでの変更点 （64 ページ）
- 問題 （65 ページ）

今回のリリースでの新機能

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードに次の機能が導入されました。

Cisco Smart Workspaces をサポートするために、2 つの新しいアプリケーションが **ACT** ライセンスに追加されました。

- **Space Manager**：このアプリケーションを使用して、さまざまなデバイス、センサーおよびワークスペースを設定し、特定のビルディング、フロア、または会議室のリッチマップにレンダリングされた、リアルタイムの稼働率データおよび環境テレメトリ（ヒートマップ、室内の空気品質、気温、湿度およびノイズレベル）へのアクセスを提供します。[Devices] セクションでは、設定されたデバイスとそのテレメトリの詳細をリッチマップに表示できます。[Workspace Management] セクションには、設定された会議室またはワークスペースが表示され、選択したワークスペースでデバイスとセンサーを表示、追加、または削除できます。

- **Space Experience**：**Space Experience** アプリケーションを使用して、次の操作を実行します。

  - **Cisco Smart Workspaces** のサイネージの作成と管理

  - Cisco Webex デバイスまたは非 Webex デバイスの新しいサイネージをオンボーディングします。

  - テレメトリパラメータを設定し、サイネージを公開します。

    設定の更新は、対応するサイネージデバイスに自動通知されます。

このリリースでの変更点

Cisco Spaces ダッシュボード では、次の機能強化が加えられました。

Cisco Spaces ライセンスパッケージ

Cisco Spaces ライセンスパッケージは、既存のライセンス（**SEE**、**EXTEND**、および **ACT**）とともに次の 3 つのライセンスをサポートするように拡張されています。

- **SMART_OPERATIONS**：このライセンスは、既存の **SEE** ライセンスと同じように機能しますが、いくつかの追加の権限があります。**SMART_OPERATIONS** ライセンスには、**SEE** ライセンスに基づくすべてのアクセス権限と、次のアプリケーションへのアクセス権が含まれています。
  - 運用に関するインサイト
  - IoT Explorer
- **SMART_VENUES**：このライセンスは、既存の **SEE** ライセンスと同じように機能しますが、いくつかの追加の権限があります。**SMART_VENUES** ライセンスには、**SEE** ライセンスに基づくすべてのアクセス権限と、次のアプリケーションへのアクセス権が含まれています。
  - キャプティブ ポータル
  - エンゲージメント
  - プロファイル ルール
- **SPACES UNLIMITED**：**UNLIMITED** ライセンスを持つ Cisco Spaces アカウントには、既存の **ACT** ライセンスと同様のすべての権限が含まれます。

  UNLIMITED ライセンスパッケージを使用した **Cisco Smart License** 対応アカウントの場合、ライセンス数は、Cisco Spaces プラットフォームにアップロードされたマップに基づいて計算されたすべてのフロアロケーションの合計平方フィート面積に基づいています。

（注） Cisco Spaces ユーザーは、**分割ライセンス**機能を使用して、ロケーションに対してこれらのライセンスのいずれかを選択できるようになりました。

Cisco Spaces ダッシュボードタイルの機能拡張

Cisco Spaces ライセンスパッケージの機能拡張をサポートするために、Cisco Spaces アプリケーションで次の GUI の変更が行われました。

- 資産ロケータおよび IoT Explorer アプリは、**SMART_OPERATIONS** ライセンスで使用できます。

- キャプティブポータル、エンゲージメント、ロケーションペルソナアプリケーションは、**SMART_VENUES** ライセンスで使用できます。

（注） **UNLIMITED** および **ACT** ライセンスには、すべての Cisco Spaces アプリケーション（**SMART_OPERATIONS** および **SMART_VENUES** ライセンスで使用可能なアプリケーションを含む）へのアクセスが含まれます。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの問題」と「未解決の問題」の項に、このリリースの問題が一覧表示されています。

未解決の問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースの未解決の問題を示します。

表 *26 : Cisco Spaces* の未解決の問題

問題識別子	問題の説明
CSCwd41670	Catalyst Center と Cisco Spaces の間で大きなマップファイルの同期にサポートが必要
CSCwf16696	アセットトラッキング：ユースケースにインポートするために表示されるアセットの数が、使用可能なアセットよりも多い

解決済みの問題

ここでは、Cisco Spaces のこのリリースで解決された問題を示します。

表 *27 : Cisco Spaces* の解決済みの問題

問題識別子	問題の説明
CSCwh18418	Cisco Spaces Firehose API と Cisco CMX API 経由で収集されたデータ間の不整合。
CSCwh20943	レガシーCMX ノードが階層に存在する場合、インポートされたロケーションが CMX の下に追加される。

第 19 章

2023 年 6 月

- 今回のリリースでの新機能 （67 ページ）
- このリリースでの変更点 （67 ページ）
- 問題 （67 ページ）

今回のリリースでの新機能

Cisco Spaces のこのリリースに新機能はありません。

このリリースでの変更点

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードでは、次の機能強化が加えられました。

キャプティブ ポータル レポート

キャプティブ ポータルアプリケーションの**デバイス オンボーディング** レポートの [Promos and Offers Performance] セクションが拡張され、プロモーションのビュー数が含まれるようになりました。この機能を使用すると、特定のプロモーションのビュー数とクリック数を追跡できます。

ロケーションと地図

ロケーションとマップ機能がすべての Cisco Spaces アカウントで有効になりました。このリリース以前は、**Cisco Smart Workspaces** アカウントでのみサポートが提供されていました。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの問題」と「未解決の問題」の項に、このリリースの問題が一覧表示されています。

未解決の問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースの未解決の問題を示します。

表 *28 : Cisco Spaces* の未解決の問題

問題識別子	問題の説明
CSCwd41670	Catalyst Center と Cisco Spaces の間で大きなマップファイルの同期にサポートが必要

解決済みの問題

ここでは、Cisco Spaces のこのリリースで解決された問題を示します。

表 *29 : Cisco Spaces* の解決済みの問題

問題識別子	問題の説明
CSCwf61446	Cisco CMX から同期しようとしたときに、マップ同期プロセスでエラーが発生する

第 20 章

2023 年 5 月

- 今回のリリースでの新機能 （69 ページ）
- このリリースでの変更点 （70 ページ）
- 問題 （70 ページ）

今回のリリースでの新機能

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードに次の機能が導入されました。

ロケーションと地図

ロケーションとマップ機能を使用すると、さまざまなソース、Catalyst Center、Cisco Prime Infrastructure、および Cisco Meraki からのネットワーク階層を、単一のビジネス指向のロケーション階層に正規化および統合できます。

ロケーションの詳細を含む Microsoft Excel（.xlsx）ファイルをアップロードすることで、Cisco Spaces にビジネス中心の階層を作成できます。さらに、Microsoft Excel（.xlsx）ファイルからインポートすると、複数のロケーションのロケーションメタデータ情報を一度に追加または更新できます。

（注） 現在、この機能は **Cisco Smart Workspaces** ユーザーに対してのみ有効になっています。

リッチマップ

リッチマップは平面のフロアマップを非常に直感的に操作できる動的な 3D マップに変換します。Cisco Spaces の**リッチマップ**機能は、コンピュータ支援設計（CAD）ファイルを論理的に分解し、会議室の詳細、職場のデスク情報、設備などのデータを抽出するのに役立ちます。これらをロケーション階層にアタッチして、追加のユースケースを見つけることができます。

Cisco Spaces：コネクタ 3：高可用性ペアのサポート

Cisco Spaces コネクタ 3、2023 年 5 月リリースは、**デュアルインターフェイス**および**高可用性**機能をサポートしています。デュアル インターフェイス モデルでは、Cisco Spaces：コネクタに入るトラフィックを制御できます。このモデルは、**プライマリ**と**セカンダリ**の 2 つのインターフェイスをサポートします。

プライマリインターフェイスは、すべての出力トラフィックのデフォルトインターフェイスであり、すべての入力ポートがブロックされます。**セカンダリ**インターフェイスを使用すると、入力を許可するネットワークまたは IP アドレスエンドポイントを設定できます。

高可用性のサポートにより、常に 1 つの Cisco Spaces：コネクタ のみがアクティブになり、**セカンダリ**インスタンスは常にスタンバイモードになります。仮想 IP アドレスは、これら 2 つのインスタンス間で共有されます。したがって、Cisco Spaces：コネクタ に接続するすべてのデバイスは、どのシステムがアクティブであるかに関係なく、同じ IP アドレスを使用します。

このリリースでの変更点

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードでは、次の機能強化が加えられました。

マップサービス

さまざまなソース、Catalyst Center、Cisco Prime Infrastructure、または Cisco Meraki からマップをインポートまたは同期する場合、サポートが拡張され、ネットワーク階層が単一のビジネス指向の階層に正規化および統合されます。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの問題」と「未解決の問題」の項に、このリリースの問題が一覧表示されています。

未解決の問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースの未解決の問題を示します。

表 *30 : Cisco Spaces* の未解決の問題

問題識別子	問題の説明
CSCwf16696	アセットトラッキング：ユースケースにインポートするために表示されるアセットの数が、使用可能なアセットよりも多い
CSCwd41670	Catalyst Center と Cisco Spaces の間で大きなマップファイルの同期にサポートが必要

解決済みの問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースで解決された問題を示します。

表 *31 : Cisco Spaces* の解決済みの問題

問題識別子	問題の説明
CSCwf47913	IoT Explorer：デバイスが退出して同じ場所に入ったときに、アセットエントリルールがトリガーされない
CSCwe72447	Catalyst Center 階層の変更が Cisco Spaces ロケーション階層に反映されない

第 21 章

2023 年 4 月

- 今回のリリースでの新機能 （73 ページ）
- このリリースでの変更点 （73 ページ）
- 問題 （74 ページ）

今回のリリースでの新機能

Cisco Spaces のこのリリースに新機能はありません。

このリリースでの変更点

パフォーマンスの最適化

このリリースでは、Cisco Spaces アプリケーションのパフォーマンスが改善されています。アプリケーションのバックエンドパフォーマンスは、データ処理パイプラインを改善し、システムのオーバーヘッドを削減するように最適化されています。

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードでは、次の機能強化が加えられました。

IoT Explorer

IoT Explorer アプリケーションは、AP センサーデバイスからの X 座標と Y 座標をレポートできるように機能が拡張されました。

Cisco Spaces：コネクタ 3

デフォルトでは、新しい **Cisco Spaces**：**コネクタ 3** インスタンスが追加されると、**ロケーションサービス**が有効になります。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「未解決の問題」と「解決済みの問題」の項に、このリリースの問題が一覧表示されています。

未解決の問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースの未解決の問題を示します。

表 *32 : Cisco Spaces* の未解決の問題

問題識別子	問題の説明
CSCwf16696	アセットトラッキング：ユースケースにインポートするために表示されるアセットの数が、使用可能なアセットよりも多い
CSCwd41670	Catalyst Center と Cisco Spaces の間で大きなマップファイルの同期のサポート

解決済みの問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースで解決された問題を示します。

表 *33 : Cisco Spaces* の解決済みの問題

問題識別子	問題の説明
CSCwe86258	位置分析：カスタムレポートで、[Edit] ウィンドウページから SSID を変更できない
CSCwd00980	OpenRoaming：[Network Configuration] セクションに表示される、展開されているコントローラの数が正しくない
CSCwe89680	Cisco Detect & Locate で、Meraki AP がフロアマップに正しく配置されない
CSCwe29576	ロケーションサービスが Cisco Spaces：コネクタ 3 に自動的に追加されない

第 22 章

2023 年 3 月

- 今回のリリースでの新機能 （75 ページ）
- このリリースでの変更点 （75 ページ）
- 問題 （77 ページ）

今回のリリースでの新機能

新しいソフトウェアリリース

Cisco Spaces：**コネクタ 3** の Amazon マシンイメージ（AMI）のバージョンは、Amazon Web Services（AWS）Marketplace に公開されています。詳細については、『Cisco Spaces: Connector3 Configuration Guide』を参照してください。

Cisco Spaces：コネクタ 3

デフォルトでは、新しい **Cisco Spaces**：**コネクタ 3** インスタンスが追加されると、ロケーションが追加されます。

このリリースでの変更点

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードでは、次の機能強化が加えられました。

位置分析

位置分析アプリの GUI が刷新され、ユーザー体験が強化されました。この刷新では、ユーザー体験の向上と、ユーザーが位置分析データから生成できる価値の強化に重点が置かれています。

この刷新は、メトリックの計算や数値には影響しません。

この刷新の主要なメリットは、次のとおりです。

- 2 セットのロケーション、SSID、および期間を比較する機能
- タイルやチャートを再配置してレポートビューをカスタマイズする機能
- テンプレートを使用してカスタムレポートを作成する機能

（注） 刷新されたカスタムレポートには、既存のカスタムレポートとの下位互換性はありません（このリリースより前に作成されたカスタムレポートは Cisco Spaces ダッシュボードに表示されません）。

ロケーション階層 2.0 のグローバル RBAC

ロケーション階層 2.0 は、Cisco Spaces ユーザーがアクセスできるロケーションのみを表示するように機能拡張されました。これらのロケーションへのアクセス可能性は、ロールを作成または編集するか、[Admin Management] で Cisco Spaces ユーザーを招待または編集するときに定義されます。

（注）
- このグローバルロールベースアクセスコントロール（GRBAC）機能は、ロケーション階層 1.0 でサポートされています。
- GRBAC 機能は、現在、[Cisco Spaces: Detect and Locate] アプリユーザー（**[Cisco Spaces: Detect and Locate]** > **[User Management]** > **[App Users]**）ではサポートされていません。

Cisco Spaces ダッシュボードでのスイッチのロケーション統合

Cisco Spaces ダッシュボード では、[Wired Network] でスイッチを追加または編集する場合、[Add locations] オプションをクリックしてロケーションを選択し、スイッチに関連付けます。

接続テスト

Cisco Spaces の**接続テスト**機能は、**Cisco Spaces**：**コネクタ 3** をサポートするように機能拡張されています。コントローラを追加するときは、**接続テスト**機能を使用して新しいコントローラのステータスを確認します。

（注） **接続テスト**機能は、**Cisco Spaces**：**コネクタ 2.x** でサポートされています。

コントローラインポート機能

Cisco Spaces ダッシュボード は、コントローラまたは Cisco スイッチを同じアカウント内の別のコネクタに移動するタスクをサポートするようになりました。

次のコネクタ間でコントローラまたは Cisco スイッチを移動できます。

- Cisco Spaces：コネクタ 2.x から Cisco Spaces：コネクタ 2.x
- Cisco Spaces：コネクタ 2.x から Cisco Spaces：コネクタ 3

- Cisco Spaces：コネクタ 3 から Cisco Spaces：コネクタ 3
- Cisco Spaces：コネクタ 3 から Cisco Spaces：コネクタ 2.x

ソフトウェアリリースの拡張機能

Cisco Spaces：**コネクタ 3** ロケーション サービス バージョン 3.0.1.272 がリリースされました。

Cisco Network Services Manager バージョン 3.0.4.13 がリリースされました。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの問題」と「未解決の問題」の項に、このリリースの問題が一覧表示されています。

未解決の問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースの未解決の問題を示します。

表 *34 : Cisco Spaces* の未解決の問題

問題識別子	問題の説明
CSCwd41670	Catalyst Center と Cisco Spaces の間で大きなマップファイルの同期のサポート
CSCwe86258	位置分析：カスタムレポートで、[Edit] ウィンドウページから SSID を変更できない

解決済みの問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースで解決された問題を示します。

表 *35 : Cisco Spaces* の解決済みの問題

問題識別子	問題の説明
CSCwe84200	IoT Explorer：アセット名がデバイスの MAC アドレスによって上書きされる
CSCwe15039	マップサービス UI セクションにフロアマップ画像が表示されない
CSCwe45698	Firehose イベントでは、ゾーンレベルの更新でマップ ID 情報を送信することが予期される

第 23 章

2023 年 2 月

- 今回のリリースでの新機能 （79 ページ）
- このリリースでの変更点 （79 ページ）
- 問題 （80 ページ）

今回のリリースでの新機能

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードに次の機能が導入されました。

Cisco Spaces：**コネクタ 3 での OpenRoaming のサポート**

コネクタ 3 での **OpenRoaming** のサポートが有効になりました。Cisco Spaces ダッシュボードから、**コネクタ 3** を使用して、次のことを実行できます。

- ホットスポットをサービスとして追加または削除する
- ホットスポットのコントローラを追加または削除する
- デバッグログを有効にして、それらをクラウドにアップロードする

ロケーション階層

ワークスペースを会議室に自動的にマッピングする、新しいバージョンの **Cisco Webex** ワークスペース マッピング アルゴリズムが展開されます。

このリリースでの変更点

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードでは、次の機能強化が加えられました。

Cisco Webex 統合の一部として、Cisco Spaces は、**Cisco Webex** ナビゲータの永続的な Web アプリとの統合をサポートするようになりました。顧客が **Cisco Webex** Control Hub と Cisco Spaces

の統合をアクティブ化すると、Control Hub で、この統合をサポートする必要な設定が更新されます。

（注） 現在、この統合を利用できるのは **Cisco Smart Workspaces** ユーザーのみです。

Cisco Spaces パートナーダッシュボード

Cisco Spaces パートナーダッシュボードでは、次の機能強化が加えられました。

アプリにアクティブ化がある場合、アプリの削除を許可しない：アプリにアクティブ化がある場合、Cisco Spaces Partner ダッシュボードはアプリの削除をサポートしません。最初にそれぞれのアプリのアクティブ化を削除してから、アプリを削除する必要があります。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの問題」と「未解決の問題」の項に、このリリースの問題が一覧表示されています。

各問題について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各問題には、一意の識別子（ID）が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNNN というパターンで、x は任意の文字（a ～ z）、N は任意の数字（0 ～ 9）です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Cisco Technical Assistance Center（TAC）エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の問題の ID が提供されます。
- 説明：問題が発生したときに観察された内容の説明。

未解決の問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースの未解決の問題を示します。

表 *36 : Cisco Spaces* の未解決の問題

問題識別子	問題の説明
CSCwd41670	Cisco Catalyst Center と Cisco Spaces の間で大きなマップファイルの同期のサポート
CSCwe45698	Firehose イベントでは、ゾーンレベルの更新でマップ ID 情報を送信する必要がある

解決済みの問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースで解決された問題を示します。

表 *37 : Cisco Spaces* の解決済みの問題

問題識別子	問題の説明
CSCwe48569	IoT Explorer：アセットトラッキングのユースケースから BLE タグを削除しても、次回の更新でタグが再び追加される
CSCwe34833	SMS Apiserver が同じテナントの 2 つの SMPP ゲートウェイとバインドされない
CSCwe14756	パートナーサイトに渡されるコンテンツタイプが正しくないため、パートナーアプリのアクティブ化に失敗する
CSCwe37381	パートナーアプリがアクティブ化されている場合、そのアプリが削除されると、アプリの設定が破損する
CSCwd13553	Cisco Partner ダッシュボードで、アプリを開いた後に [Home] ページに移動できない
CSCwe20037	Cisco Spaces Prod の統合後、ネットワーク階層の Cisco Catalyst Center フロアにクライアントが表示されない
CSCwe01529	サブスクリプションの失敗により、Cisco Catalyst Center にクライアントが表示されない
CSCwe29685	OpenRoaming アプリで読み取り専用アクセス権を持つアプリユーザーの場合、ページが読み込まれない
CSCwd79229	WLC の追加中に、正常に機能している SJC Alpha Cisco Spaces コネクタ 3.0 の「テスト接続」が失敗する
CSCwe38494	エンゲージメントルールで頻度が 1 日に 1 回と設定されている場合、頻度がルールに一致しない

第 24 章

2023 年 1 月

- 今回のリリースでの新機能 （83 ページ）
- このリリースでの変更点 （83 ページ）
- 問題 （83 ページ）

今回のリリースでの新機能

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードに次の機能が導入されました。

ロケーション階層：Cisco Spaces でタグ付けされた Cisco Meraki ネットワークの自動インポートのサポート

CiscoSpaces タグを持つ Cisco Meraki ネットワークは、バックグラウンド同期プロセスの実行中に Cisco Spaces の**ロケーション階層**に自動的にインポートされます。これらのタグ付きネットワークの自動インポートをサポートするには、Meraki 組織が**ロケーション階層**に存在する必要があります。

（注） **CiscoSpaces** は、Cisco Meraki ネットワークに追加されたタグ名である必要があります。

このリリースでの変更点

Cisco Spaces のこのリリースには拡張機能はありません。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの問題」と「未解決の問題」の項に、このリリースの問題が一覧表示されています。

各問題について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各問題には、一意の識別子（ID）が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNNN というパターンで、x は任意の文字（a ～ z）、N は任意の数字（0 ～ 9）です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Cisco Technical Assistance Center（TAC）エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の問題の ID が提供されます。
- 説明：問題が発生したときに観察された内容の説明。

未解決の問題

Cisco Spaces のこのリリースに未解決の問題はありません。

解決済みの問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースで解決された問題を示します。

表 *38 : Cisco Spaces* の解決済みの問題

問題識別子	問題の説明
CSCwe14553	ダッシュボードにログインしていない Cisco Spaces ユーザーが共有レポートを表示できない

第 III 部

2022

- 2022 年 12 月 （87 ページ）
- 2022 年 11 月 （91 ページ）
- 2022 年 10 月 （95 ページ）
- 2022 年 9 月 （99 ページ）
- 2022 年 8 月 （103 ページ）
- 2022 年 7 月 （107 ページ）
- 2022 年 6 月 （109 ページ）
- 2022 年 5 月 （113 ページ）
- 2022 年 4 月 （117 ページ）
- 2022 年 3 月 （121 ページ）
- 2022 年 2 月 （123 ページ）
- 2022 年 1 月 （125 ページ）

第 25 章

2022 年 12 月

- 今回のリリースでの新機能 （87 ページ）
- このリリースでの変更点 （87 ページ）
- 問題 （88 ページ）

今回のリリースでの新機能

Cisco Spaces のこのリリースに新機能はありません。

このリリースでの変更点

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードでは、次の機能強化が加えられました。

IoT Explorer

- ユーザーワークフローのインポート：**IoT Explorer** アプリケーションの機能が拡張され、新しいユーザーまたは既存のユーザーを特定のユースケースにインポートできるようになりました。[Import Users] オプションを使用すると、他のユースケースからユーザーをインポートしたり、ユーザーの詳細情報を含む Microsoft Excel（.xlsx）ファイルをアップロードして一度に複数のユーザーを追加することができます。

  ユーザーをインポートするには、**[IoT Explorer]** > **[Use Case]** > **[Users/Roles]** > **[Import Users]** を選択します。

- 占有履歴：[Occupancy History] タブには、ユーザーのプレゼンスが、検出された占有および検出されなかった占有のタイムラインとともに表示されます。過去 24 時間、7 日間、または 30 日間のタイムラインでこれを表示できます。占有履歴の詳細情報を表示するには、**[Presence Detection]** > **[Sensor]** > **[Asset Name]** > **[Occupancy History]** を選択します。

- Cisco Webex およびトリガー API のサポート：SMS と電子メールに加えて、Cisco Webex およびトリガー API を使用したセンサー通知の送信のサポートが追加されました。通知を設定するには、**[IoT Explorer]** > **[Use Case]** > **[Rules]** > **[Add Rule]** > **[Actions sections]**を選択します。
- ロケーション履歴：**アセットトラッキング**のユースケースでは、デバイスのロケーション履歴が記録され、**X** 座標と **Y** 座標によって地図上に表示されます。過去 24 時間、7 日間、または 30 日間のタイムラインでこれを表示できます。

マイアカウント

- Cisco Spaces ダッシュボードは機能が拡張され、[Enable Support Access] オプションが含まれるようになりました。Cisco Spaces の顧客は、[Enable Support Access] オプションを使用して、Cisco Spaces サポートチームに対して顧客のアカウントへのアクセスを有効または無効にすることができます。このオプションを有効にすると、Cisco Spaces サポートチームが例外的な状況で問題を検出してデバッグするために役立ちます。
- このオプションは、**[My Account]** > **[Preferences]**セクションで利用できます。アクセスが有効になると、Cisco Spaces サポートチームは顧客の Cisco Spaces アカウントにアクセスできるようになります。

（注） デフォルトでは、[Enable Support Access] オプションが有効になっています。

ロケーション階層

ロケーション階層 2.0 は、特定のフロアでリッチマップが利用可能な場合、それらが表示されるように機能が拡張されました。リッチマップをアップロードするオプションは、現在、Cisco Spaces サポートチームによって管理されています。

[3D] トグルボタンをクリックすると、2D フロアマップと 3D フロアマップを切り替えることができます。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの問題」と「未解決の問題」の項に、このリリースの問題が一覧表示されています。

各問題について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各問題には、一意の識別子（ID）が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNNN というパターンで、x は任意の文字（a ～ z）、N は任意の数字（0 ～ 9）です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Cisco Technical Assistance Center（TAC）エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の問題の ID が提供されます。
- 説明：問題が発生したときに観察された内容の説明。

未解決の問題

Cisco Spaces のこのリリースに未解決の問題はありません。

解決済みの問題

ここでは、Cisco Spaces のこのリリースで解決されたバグを示します。

表 *39 : Cisco Spaces* の解決済みの問題

問題識別子	問題の説明
CSCwd66507	Mapservice UI にキャンパスが重複して表示される

第 26 章

2022 年 11 月

- 今回のリリースでの新機能 （91 ページ）
- このリリースでの変更点 （91 ページ）
- 問題 （92 ページ）

今回のリリースでの新機能

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードに次の機能が導入されました。

データエクスポート機能で新しい宛先がサポートされるようになりました。SFTP に加えて、次の宛先へのデータエクスポートを作成できます。

- Amazon S3
- Microsoft Azure Blob Storage
- Google Cloud Storage
- Box

このリリースでの変更点

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードでは、次の機能強化が加えられました。

Spaces コネクタ 3.0：有線サポート

Cisco Spaces：コネクタ 3.0 が、**メニュー**（ ≡ ）> **[Setup]** > **[Wired Network]** セクションで利用できるようになりました。[Wired Network] で 2.x と 3.0 の両方のコネクタを作成できます。

サービスの関連付け、インスタンスの追跡、メトリックの可視化などのコネクタ 3.0 機能を [Wired Network] セクションで利用できます。

Cisco Spaces ダッシュボード GUI の強化

Cisco Spaces のブランディングの変更に応じて次のセクションが機能強化されています。

- ログインセクション
- ホームページ：トップバナー（Cisco Spaces ロゴ）

ロケーション階層

モデル名が **CW** で始まるアクセスポイントを**ロケーション階層**に自動インポートできるようになりました（Cisco Meraki によって新たに導入されました）。このリリースより前のリリースでは、**MR** および **MX** アクセスポイントモデルのみがサポートされていました。

Cisco Spaces パートナーダッシュボード

Cisco Spaces パートナーダッシュボードでは、次の機能強化が加えられました。

シンガポール地域のサポート

Cisco Spaces パートナーダッシュボードは、シンガポール地域をサポートするように拡張されました。パートナーは、シンガポール地域向けのアプリを作成して公開できるようになりました。

パートナーダッシュボード GUI の強化

Cisco Spaces のブランディングの変更に応じて次のセクションが機能強化されています。

- ログインセクション
- ホームページ：トップバナー（Cisco Spaces ロゴ）

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの問題」と「未解決の問題」の項に、このリリースの問題が一覧表示されています。

各問題について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各問題には、一意の識別子（ID）が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNNN というパターンで、x は任意の文字（a ～ z）、N は任意の数字（0 ～ 9）です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Cisco Technical Assistance Center（TAC）エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の問題の ID が提供されます。
- 説明：問題が発生したときに観察された内容の説明。

Cisco Spaces のこのリリースに未解決の問題はありません。

解決済みの問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースで解決された問題を示します。

表 *40 : Cisco Spaces* の解決済みの問題

問題識別子	問題の説明
CSCwd09396	影響分析でページがいつまでもロード中になる

第 27 章

2022 年 10 月

- 今回のリリースでの新機能 （95 ページ）
- このリリースでの変更点 （95 ページ）
- 問題 （96 ページ）

今回のリリースでの新機能

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードに次の新機能が導入されました。

Cisco Spaces ダッシュボードは、**分割ライセンス**をサポートするようになりました。

スマートライセンスに登録されているアカウントには、ライセンスタイプを各ロケーションレベルでアップグレードまたはダウングレードするオプションがあります。[Location Hierarchy] ウィンドウにある [License Level Change] オプションを使用します。

（注） **分割ライセンス**を使用するには、アカウントをスマートライセンスに登録する必要があります。

このリリースでの変更点

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードでは、次の機能強化が加えられました。

ロケーションベースの RBAC

RBAC が、特定の場所をサポートするように機能強化されました。[Restrict this role to specific locations] オプションを使用すると、ロールの作成中（**[Admin Management]** > **[Roles]** > **[Create**

Role]）およびユーザーの招待フロー中（**[Admin Management]** > **[Invite Admin]**）に特定の場所がサポートされます。

プロファイル

ユーザープロファイル機能が拡張され、[View Change Log] オプションが含まれるようになりました。[View Change Log] をクリックすると、特定のアカウントの全ユーザーに関するアクティビティの詳細を表示する [Change Log] タブが開きます。

Firehose

Firehose の IoT テレメトリイベントが拡張され、BLE デバイス用に次の 3 つの追加フィールドが含まれるようになりました。

- [Vendor]：デバイスが要求される際のベンダー ID。
- [DeviceModel]：BLE デバイスのモデル。
- [UniqueId]：デバイスの固有の ID。

これらのフィールドには、ビーコンが要求されるときに特定の値が含まれます。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの問題」と「未解決の問題」の項に、このリリースの問題が一覧表示されています。

各問題について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各問題には、一意の識別子（ID）が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNNN というパターンで、x は任意の文字（a ～ z）、N は任意の数字（0 ～ 9）です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Cisco Technical Assistance Center（TAC）エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の問題の ID が提供されます。
- 説明：問題が発生したときに観察された内容の説明。

未解決の問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースの未解決の問題を示します。

表 *41 : Cisco Spaces* の未解決の問題

問題識別子	問題の説明
CSCwd09396	影響分析でページがいつまでもロード中になる。

解決済みの問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースで解決された問題を示します。

表 *42 : Cisco Spaces* の解決済みの問題

問題識別子	問題の説明
CSCwd33465	アプリの取得メニューをクリックしても、デスクトップまたはラップトップのランディングページにリダイレクトされない
CSCwd42802	アクセスコードのセッション継続時間の値がRADIUS応答でコントローラに渡されない
CSCwd23458	HotspotClient：証明書の有効期限が切れたときにホットスポットをロードできない
CSCwd31231	ユーザー設定とデバイス設定の削除機能が動作しない
CSCwd19227	Meraki OpenRoaming：証明書の更新プロセスで無効な APIKey が選択される

第 28 章

2022 年 9 月

- 今回のリリースでの新機能 （99 ページ）
- このリリースでの変更点 （100 ページ）
- 問題 （101 ページ）

今回のリリースでの新機能

ロケーション階層

次の新機能がロケーション階層に導入されました。

ロケーション階層で Meraki MT がサポートされるようになりました。MT センサーからデータを受信するために必要な構成は、Cisco Spaces と Meraki の統合を使用して更新されます。MT センサーはロケーション階層に自動的にインポートされます。

ロケーション階層 2.0 は、機能強化されたベータ版リリースのロケーション階層であり、ユーザーインターフェイスが刷新され、既存のロケーション階層機能とともにパフォーマンスが向上しています。

新機能は次のとおりです。

- 地理位置情報を更新するためのインタラクティブなグローバルマップ
- フロアマップでポリゴンゾーンと AP マーカーを作成および編集するオプション
- 未分類の AP グループ

（注） Cisco Spaces で、**メニュー**（☰）をクリックし、**[Location Hierarchy]** > **[Beta UI]** を選択してロケーション階層 2.0 を有効にします。[Beta UI] トグルボタンを使用すると、ロケーション階層 2.0 とロケーション階層 GUI が切り替わります。

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードに次の新機能が導入されました。

Cisco pxGrid クラウド

Cisco Spaces ダッシュボードは、Cisco pxGrid クラウドの導入をサポートするようになりました。Cisco pxGrid クラウドを使用すると、Cisco Identity Services Engine（Cisco ISE）と他のクラウドベースのソリューションとの間でコンテキスト情報を共有できます。

Cisco Spaces ダッシュボードで Cisco pxGrid クラウドを設定するには、Cisco DNA - Cloud からのトークンが必要です。このトークンを pxGrid クラウドで検証する必要があります。検証に成功すると、アプリが pxGrid クラウドでアクティブ化され、Cisco Spaces ダッシュボードでサービスを使用できるようになります。

（注） 現在、Cisco Spaces では Cisco pxGrid クラウド GUI のサポートのみを利用できます。将来的にはバックエンドの変更が含まれる予定です。

Firehose

Firehose に WEBEX テレメトリという新しいイベントが追加されました。このイベントは、ロケーション内の Cisco Webex デバイスからテレメトリデータを受信したときに開始されます。

（注） 現在、Cisco Spaces **パートナーダッシュボード**でこのイベントを有効にするための GUI サポートは利用できません。バックエンドからこの新しいイベントを有効にするには、Cisco Spaces サポートにお問い合わせください。

このリリースでの変更点

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードでは、次の機能強化が加えられました。

- **Meraki ネットワークのカメラゾーンのサポート**：Meraki にカメラゾーンを持つ新しく追加されたネットワークの場合、ゾーンがネットワークとともに [Location Hierarchy] に追加されます。

  既存のネットワークの場合、Meraki で追加、変更、または削除されたカメラゾーンは、バックグラウンド同期プロセス中に [Location Hierarchy] と同期されます。

（注） 現在、Cisco Spaces ダッシュボードにカメラゾーンを表示する GUI サポートは利用できません。

- **IoT Explorer**：Cisco Spaces ダッシュボードは、IoT Explorer アプリの [Temperature Monitoring] セクションで MT センサーデバイスのインポートをサポートするようになりました。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの問題」と「未解決の問題」の項に、このリリースの問題が一覧表示されています。

各問題について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各問題には、一意の識別子（ID）が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNNN というパターンで、x は任意の文字（a ～ z）、N は任意の数字（0 ～ 9）です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Cisco Technical Assistance Center（TAC）エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の問題の ID が提供されます。
- 説明：問題が発生したときに観察された内容の説明。

Cisco Spaces のこのリリースに未解決の問題はありません。

解決済みの問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースで解決された問題を示します。

表 *43 : Cisco Spaces* の解決済みの問題

問題識別子	問題の説明
CSCwd19341	検出と位置特定アプリにダッシュボードビューが表示されない
CSCwc46949	ユーザーが複数のロケーションを選択すると、ロケーション分析のカスタムウィジェットがロードされ続ける
CSCwc91835	503 エラーページからレポートボタンをクリックすると、無効な電子メールアドレスが表示される
CSCwc93338	Meraki AP が検出と位置特定で正しく配置されていない
CSCwd02169	フロアマップイメージがレンダリングされず、クライアントが検出と位置特定に表示されない

第 29 章

2022 年 8 月

- 今回のリリースでの新機能 （103 ページ）
- このリリースでの変更点 （103 ページ）
- 問題 （104 ページ）

今回のリリースでの新機能

ロケーション階層

Cisco Smart ワークスペースのユースケースをサポートするために、次の新機能がロケーション階層に導入されました。

次のロケーション階層のバックグラウンド同期がサポートされるようになりました。

- Meraki ネットワークまたはフロアロケーションでの Meraki MT センサーデバイスの同期。
- Cisco Webex デバイスと会議室およびデスクとの同期。

このリリースでの変更点

Cisco Spaces パートナーダッシュボード

Cisco Spaces パートナーダッシュボードでは、次の機能強化が加えられました。

[Events] セクションに NETWORK_STATUS_UPDATE という新しいイベントが追加されました。このイベントは、ステータス、最終検知日、タイプ、コネクタ名、IP アドレスなどのネットワーク情報を提供します。

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードでは、次の機能強化が加えられました。

OpenRoaming SDK プロファイル

Cisco Spaces は、[Menu]（☰）**[Integrations]** > **[Cisco Spaces SDK]** > **[Configure Profile]** ウィンドウを使用した OpenRoaming Wi-Fi プロファイルの構成をサポートするようになりました。[Configure Profile] ウィンドウで指定した値に基づいて、特定のテナントの顧客固有のプロファイルを作成できます。

この機能強化の前は、プロファイルはバックエンドで手動で更新されていました。

データ エクスポート

データエクスポート設定で、次の追加のデータエクスポートタイプがサポートされるようになりました。

- キャプティブポータル：顧客獲得
- Right Now：人数（カメラ）

（注） Cisco Spaces ダッシュボード SEE ライセンスの顧客アカウントの場合、キャプティブポータル、エンゲージメントおよびロケーションペルソナなどのデータエクスポートタイプはエクスポートできません。ACT ライセンスの顧客アカウントの場合、すべてのデータタイプをエクスポートできます。

ロケーション階層

バックグラウンド同期プロセス中に、構成テンプレートネットワークの Meraki スキャン API 通知 URL が自動的に更新されます。

Firehose API

Firehose API の Wi-Fi イベント用に新しいフィールド openRoamingUserId が追加されました。このフィールドには、SDK によってオンボーディングされた OpenRoaming ユーザーの ID が含まれます。それ以外の場合、このフィールドの値は nil です。

マップサービス

マップサービス API のパフォーマンスが強化され、インポートの履歴とステータスを取得できるようになりました。

問題

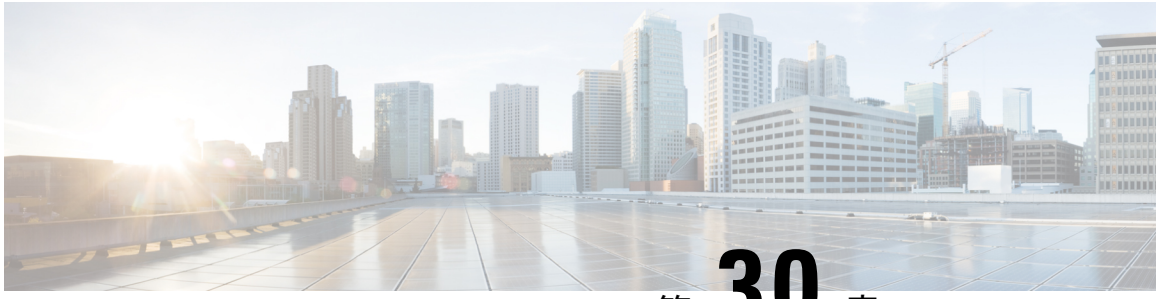
「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの問題」と「未解決の問題」の項に、このリリースの問題が一覧表示されています。

各問題について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各問題には、一意の識別子（ID）が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNNN というパターンで、x は任意の文字（a ～ z）、N は任意の数字（0 ～ 9）です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Cisco Technical Assistance Center

（TAC）エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の問題の ID が提供されます。

- 説明：問題が発生したときに観察された内容の説明。



第 30 章

2022 年 7 月

- 今回のリリースでの新機能 （107 ページ）
- このリリースでの変更点 （108 ページ）
- 問題 （108 ページ）

今回のリリースでの新機能

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードに次の機能が導入されました。

Secure File Transfer Protocol（SFTP）データエクスポート設定が Cisco Spaces ダッシュボードで利用できるようになりました。Cisco Spaces ダッシュボードで、[Menu] アイコン（☰）をクリックし、[Setup] > [Data Export] を選択します。このオプションを使用して、生データを CSV ファイルとして SFTP サーバーに自動エクスポートするように構成します。

エクスポートできるデータの種類は次のとおりです。

- アクセス
- Right Now：人数（Wi-Fi）
- エンゲージメント：ルールアクティビティ
- ロケーションペルソナ：ルールアクティビティ
- オープンローミング：ユーザーデータ

VPN を介した SFTP 接続のルーティングの詳細については、Cisco Spaces のサポートにお問い合わせください。

このリリースでの変更点

マップサービス

Map Service では、次の機能強化が加えられました。

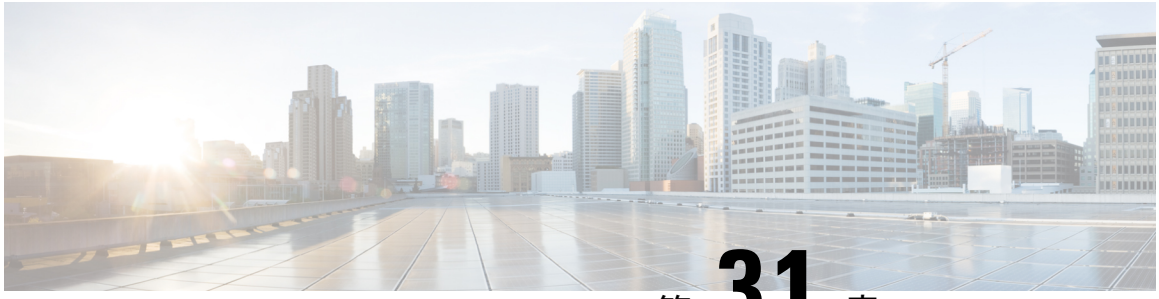
- **Cisco Prime Infrastructure から Cisco Catalyst Center へのマップ階層移行のサポート**：Cisco Spaces Location Hierarchy は、Cisco Prime Infrastructure から Cisco Catalyst Center へのネストされたサイトの移行データのインポートをサポートするようになりました。
- **Cisco Catalyst Center のネストされたサイト階層のサポート**：新しいサイトを Cisco Catalyst Center から既存のサイト階層の上にある Cisco Spaces にインポートまたは同期できるようになりました。
- **計画されたアクセスポイント（AP）インポートのサポート**：計画された AP を Map Service にインポートできるようになりました。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの問題」と「未解決の問題」の項に、このリリースの問題が一覧表示されています。

各問題について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各問題には、一意の識別子（ID）が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNNN というパターンで、x は任意の文字（a ～ z）、N は任意の数字（0 ～ 9）です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Cisco Technical Assistance Center（TAC）エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の問題の ID が提供されます。
- 説明：問題が発生したときに観察された内容の説明。



第 31 章

2022 年 6 月

- 今回のリリースでの新機能 （109 ページ）
- このリリースでの変更点 （110 ページ）
- 問題 （111 ページ）

今回のリリースでの新機能

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードに次の機能が導入されました。

IoT Explorer アプリケーション

Internet of Things（IoT）Explorer アプリケーションは、Operational Insights および Cisco Asset Locator アプリケーションの第 3 世代の拡張バージョンです。IoT Explorer アプリケーションは、Cisco Spaces でデバイス主導の IoT ユースケースを検討しているユーザーに迅速な価値をもたらし、ACT ライセンスレベルで IoT サービスに価値を追加するように設計されています。

このアプリケーションは、以下に示す 3 つのユースケースを実現します。

- アセットトラッキング
- スペースの占有/プレゼンス検出
- 温度のモニタリング

これらの各ユースケース内で、ルール/アラートの作成、データログの表示、デバイスまたはセンサーのリアルタイムのロケーションとステータスの表示を行うことができます。IoT Explorer アプリケーションの UI は、ユースケースを簡単に設定できるように設計されています。

このリリースでの変更点

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードでは、次の機能強化が加えられました。

Cisco Spaces：コネクタ 3.0

Cisco Spaces：コネクタ 3.0（このドキュメントの以降のすべての参照ではコネクタと呼ばれます）は、Cisco ワイヤレスコントローラやデータ用のスイッチなどのさまざまなネットワークデバイスに接続する複数のサービスを効率的に管理する機能を備えた完全に再設計されたバージョンのコネクタです。コネクタプラットフォームを使用すると、クラウドに新しいサービスを簡単に追加/削除できます。クラウドからのデバッグ、ログのアップロード、および再起動機能により、高度なトラブルシューティングが可能になります。コネクタは、CPU、メモリ、接続、およびアップ/ダウンステータスを含む各サービスの詳細なメトリックも提供します。

コネクタは Cisco Spaces の次世代コネクタであり、拡張されたユーザーエクスペリエンス、複数のサービスをサポートするアーキテクチャ、シンプルさ、モジュール性、シームレスなアップグレード、およびハイアベイラビリティを提供します。コネクタは、アクティブ/アクティブ高可用性セットアップをサポートします。コネクタ 2.x の以前のリリースとは異なり、高可用性ペアを具体的に設定および監視できます。すべてのサービスとデバイス構成はコネクタレベルで管理されるため、高可用性と簡単にペアリングできます。

コネクタとデバイスのステータスも、各インスタンスからコネクタレベルで集計されるため、簡単に監視できます。コネクタは、高可用性ペアの各インスタンスに完全な可視性を提供します。各インスタンスでのサービスの実行状況、アップグレードステータスなどを表示できます。サービスの再起動など、特定のインスタンスでアクションを実行することもできます。

Right Now

Right Now アプリでは、次の機能強化が行われています。

Right Now アプリは、[Location Hierarchy] に変更があった場合のカウントの問題に対処するように強化されています。

この機能強化の前に、新しいロケーションの追加、既存のロケーションの削除、または [TimeZone] などの重要なパラメータの更新などの [Location Hierarchy] の変更により、Wi-Fi の古いカウントまたは誤ったカウントが導入されました。

（注） この機能強化により、[Location Hierarchy] の変更後にカウントが無効になるため、現在の日の [Presence] チャートのカウントがリセットされます（現在の時刻までのすべての既存の数値が削除されます）。

マップサービス

Map Service では、次の機能強化が加えられました。

[Map Service] UI からゾーンのロケーションを削除すると、同じものが [Location Hierarchy] からも削除されます。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの問題」と「未解決の問題」の項に、このリリースの問題が一覧表示されています。

各問題について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各問題には、一意の識別子（ID）が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNNN というパターンで、x は任意の文字（a ～ z）、N は任意の数字（0 ～ 9）です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Cisco Technical Assistance Center（TAC）エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の問題の ID が提供されます。
- 説明：問題が発生したときに観察された内容の説明。

シスコのバグ検索ツール

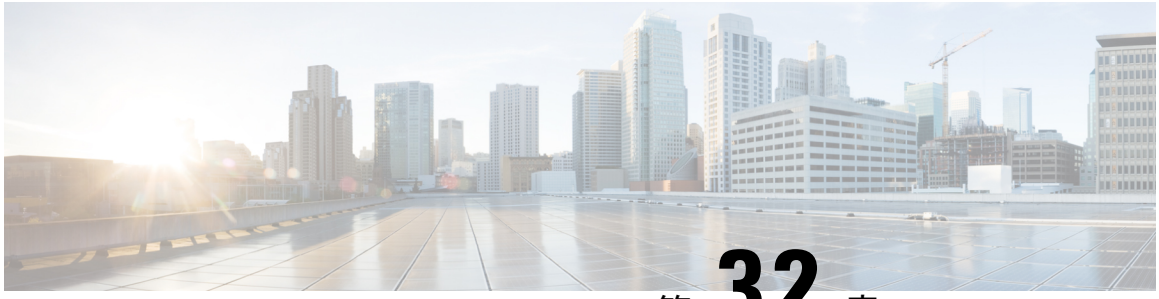
シスコのバグ検索ツール（BST）は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BST は、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

未解決の問題

Cisco Spaces のこのリリースに未解決の問題はありません。

解決済みの問題

Cisco Spaces のこのリリースに解決済みの問題はありません。



第 32 章

2022 年 5 月

- 今回のリリースでの新機能 （113 ページ）
- このリリースでの変更点 （114 ページ）
- 問題 （114 ページ）

今回のリリースでの新機能

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボード に次の機能が導入されました。

Cisco Webex の統合

Cisco Webex は、Cisco Spaces と統合されました。この統合により、**Webex Control Hub** アカウントの Cisco Webex デバイスは、**Webex Control Hub** と Cisco Spaces 間のクラウド間統合を実行できます。

この統合は以下をサポートします。

- [Webex Control Hub] からの Cisco Webex ワークスペース、デバイス、ワークスペースの場所、フロアの詳細などの Cisco Webex エンティティの同期。同期プロセスは、Cisco Spaces ダッシュボードでトークンが設定された後、3 時間ごとにバックエンドでスケジュールされます。**[Setup]** > **[Webex]** を選択して、トークンを設定します。
- Cisco Webex デバイスは、温度、電波品質、占有率などのデバイスデータを送信し、**Cisco Smart Workspaces** で使用されます。

（注） 現在、この統合は **Cisco Smart Workspaces** ユーザーのみを対象としています。

このリリースでの変更点

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードでは、次の機能強化が加えられました。

Cisco Spaces のワンタイムアクセスコード

Cisco Spaces は、1 回限りのアクセスコードの作成をサポートするように機能強化されています。**[Captive Portal]** > **[Access Code]** > **[Create Access Code]**を選択して、新しい使い捨てアクセスコードを作成します。 生成されたアクセスコードは1回限りの使用です。アクセスコードの作成時に、[Numeric] または [Alphanumeric] オプションのいずれかを選択できます。

新しいアクセスコードのステータスは、[View Access Codes] ウィンドウに [Available] と表示されます。アクセスコードを使用すると、ステータスが [Used] に変わります。

キャプティブ ポータル

Cisco Spaces キャプティブポータルでは、次の機能強化が加えられました。

キャプティブ ポータル ランタイムでのワンタイムアクセスコードのサポート

Cisco Spaces キャプティブポータルでは、1 回限りのアクセスコードがサポートされるようになりました。生成されたアクセスコードは 1 回限りの使用です。アクセスコードがすでに 1 回使用されている場合は、次のエラーメッセージが表示されます：アクセスコードが無効です。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの問題」と「未解決の問題」の項に、このリリースの問題が一覧表示されています。

各問題について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各問題には、一意の識別子（ID）が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNNN というパターンで、x は任意の文字（a ～ z）、N は任意の数字（0 ～ 9）です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Cisco Technical Assistance Center（TAC）エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の問題の ID が提供されます。
- 説明：問題が発生したときに観察された内容の説明。

シスコのバグ検索ツール

シスコのバグ検索ツール（BST）は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BSTは、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

未解決の問題

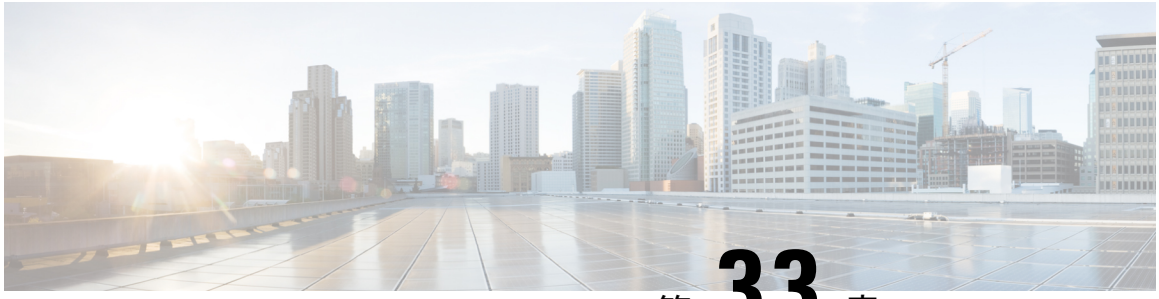
Cisco Spaces のこのリリースに未解決の問題はありません。

解決済みの問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースで解決された問題を示します。

表 *44 : Cisco Spaces* の解決済みの問題

問題識別子	問題の説明
CSCwb99689	マップフロア API 応答の先祖 ID が null であるため、クライアントが検出と位置特定アプリに表示されない。



第 33 章

2022 年 4 月

- 今回のリリースでの新機能 （117 ページ）
- このリリースでの変更点 （117 ページ）
- 問題 （118 ページ）

今回のリリースでの新機能

このリリースに新機能はありません。

このリリースでの変更点

Cisco Spaces ダッシュボード

Cisco Spaces ダッシュボードでは、次の機能強化が加えられました。

Cisco Spaces と Cisco Customer Identity の統合

Cisco Spaces は、ログインワークフローのために Cisco Customer Identity（CCI）アプリケーションと統合されました。Cisco Spaces ユーザーは、ログイン認証のために CCI アプリケーションウィンドウにリダイレクトされ、Cisco Spaces ダッシュボードへのログインに進みます。

新しいワークフローは、次のユーザーに適用されます。

- Cisco ドメインユーザー
- 顧客ドメインの非 SSO ユーザー

CCI 統合の導入により、[Switch Users] オプションを使用して、Cisco Spaces のログインウィンドウで異なる電子メールアドレスを切り替えることができるようになりました。

（注） 顧客ドメインの SSO ユーザーは、既存のログインワークフローを引き続き使用できます。

位置分析

Location Analytics に、フィルタリングされたロケーションの階層パスが表示されるようになりました。フィルタリングされたロケーションパスは、ホームページで使用可能なウィジェットと、[Path] ウィジェットを除く [Custom Reports] セクションに表示されます。

Cisco Spaces パートナーダッシュボード

Cisco Spaces パートナーダッシュボードでは、次の機能強化が加えられました。

パートナーダッシュボードとの CCI 統合

Cisco Spaces パートナーダッシュボードは、ログインワークフロー用の CCI アプリケーションに統合されました。この機能は、Cisco Spaces Cisco Spaces ダッシュボードに似ています。

Cisco Spaces パートナーダッシュボードのユーザーは、Cisco Spaces パートナーダッシュボードのログインウィンドウにある [Switch Users] オプションを使用して、異なる電子メールアドレスを切り替えることができます。

マップサービス

Cisco Spaces [Map Service] では、次の機能強化が加えられました。

GPS マーカーの警告メッセージ

インポートされた場所に無効な GPS マーカーがある場合、[Import History] セクションに表示される GPS マーカーの警告メッセージにはフロア名のみが表示されます。この機能強化により、メッセージは、無効な GPS マーカーを持つフロアの [Import History] セクションの階層全体を表示します。

Cisco Catalyst Wireless 9164I Wi-Fi 6E シリーズ アクセスポイント（AP）サポート

- Cisco Catalyst Wireless 9164I Wi-Fi 6E シリーズ AP サポートが [Map Service] に追加されました。
- [Map Service] を使用して、Cisco Catalyst Wireless 9164I Wi-Fi 6E シリーズ AP を Cisco Spaces にインポートできるようになりました。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの問題」と「未解決の問題」の項に、このリリースの問題が一覧表示されています。

各問題について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各不具合には、一意の識別子（ID）が割り当てられます。識別子は CSC*xxNNNNN* というパターンで、*x* は任意の文字（a ～ z）、*N* は任意の数字（0 ～ 9）です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Technical Assistance Center（TAC）エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の不具合の ID が提供されます。
- 説明：問題が発生したときに観察された内容の説明。

ここでは、次の内容について説明します。

シスコのバグ検索ツール

シスコのバグ検索ツール（BST）は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BSTは、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

未解決の問題

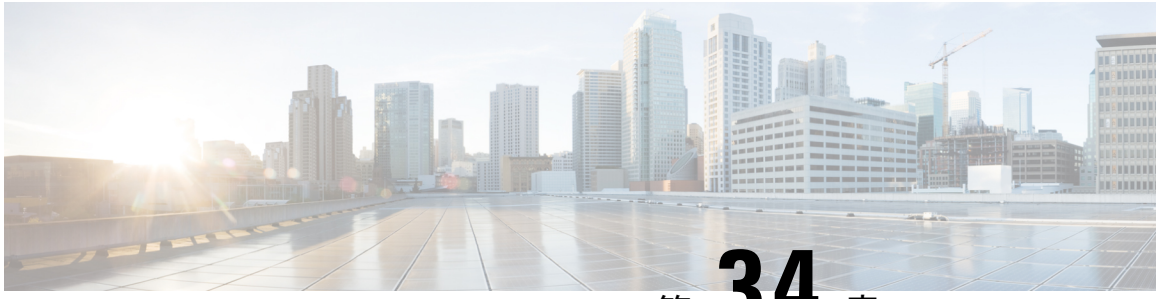
Cisco Spaces のこのリリースに未解決の問題はありません。

解決済みの問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースで解決された問題を示します。

表 *45 : Cisco Spaces* の解決済みの問題

問題識別子	問題の説明
CSCwb33270	Cisco Spaces 同期を手動で実行中に内部エラーが発生。



第 34 章

2022 年 3 月

- 今回のリリースでの新機能 （121 ページ）
- このリリースでの変更点 （121 ページ）
- 問題 （122 ページ）

今回のリリースでの新機能

パートナー ダッシュボード

Cisco Spaces パートナーダッシュボードに次の機能が導入されました。

Trace Firehose

Cisco Spaces パートナーダッシュボードに [Trace Firehose] と呼ばれる新機能が導入されました。この機能は、**[Your Apps]** > **[App Tile]** > **[More]** > **[Trace Firehose]**で利用できます。この機能には、Cisco Spaces パートナーダッシュボードから [Firehose] データを表示するための次の 2 つのオプションがあります。

- [Download historical data]：過去 24 時間の時間別データをダウンロードするには、このオプションを使用します。必要なタイムスロットを選択して、選択したタイムスロット内にトリガーされた Firehose イベントを含むテキストファイルをダウンロードします。
- [Download present data]：このオプションを使用して、Cisco Spaces パートナーダッシュボード UI で 5 分間、firehose イベントのライブストリームを表示します。

このリリースでの変更点

Mapservice

Cisco Spaces **Mapservice** では、次の機能強化が加えられました。

計画されたアクセスポイントの [Mapservice] および [Location Hierarchy] へのインポートはサポートされていません。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの問題」と「未解決の問題」の項に、このリリースの問題が一覧表示されています。

各問題について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各問題には、一意の識別子（ID）が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNNN というパターンで、x は任意の文字（a ～ z）、N は任意の数字（0 ～ 9）です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Cisco Technical Assistance Center（TAC）エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の問題の ID が提供されます。
- 説明：問題が発生したときに観察された内容の説明。

シスコのバグ検索ツール

シスコのバグ検索ツール（BST）は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BST は、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

未解決の問題

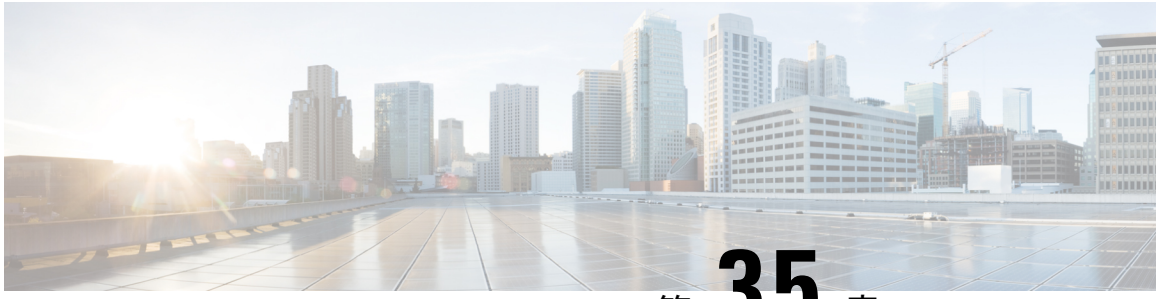
この項では、Cisco Spaces のこのリリースの未解決の問題を示します。これまでのリリースで未解決で、まだ解決されていない問題は、修正されるまで、今後のすべてのリリースに適用されます。

表 *46 : Cisco Spaces* の未解決の問題

問題識別子	問題の説明
CSCwb30644	Meraki と統合されている場合、OpenRoaming の統計が表示されない。

解決済みの問題

Cisco Spaces のこのリリースに解決済みの問題はありません。



第 35 章

2022 年 2 月

- 今回のリリースでの新機能 （123 ページ）
- このリリースでの変更点 （123 ページ）
- 問題 （123 ページ）

今回のリリースでの新機能

Cisco Spaces のこのリリースに新機能はありません。

このリリースでの変更点

パートナー ダッシュボード

Cisco Spaces パートナーダッシュボードでは、次の機能強化が加えられました。

マルチテナント クラウド アプリケーションの場合、[Integration Details] タブに、ライブアプリの API キーが次のように表示されるようになりました。

- アプリが [Live] 状態の場合にのみ、本番 API キーを更新してコピーできます。
- [Live] 状態のアプリのサンドボックスと運用前 API キーを更新してコピーするには、パートナーはアプリの新しいバージョンを作成し、アプリの [Draft] バージョンでキーをコピーして更新する必要があります。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの問題」と「未解決の問題」の項に、このリリースの問題が一覧表示されています。

各問題について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各問題には、一意の識別子（ID）が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNNN というパターンで、x は任意の文字（a ～ z）、N は任意の数字（0 ～ 9）です。これらの ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Cisco Technical Assistance Center（TAC）エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の問題の ID が提供されます。
- 説明：問題が発生したときに観察された内容の説明。

シスコのバグ検索ツール

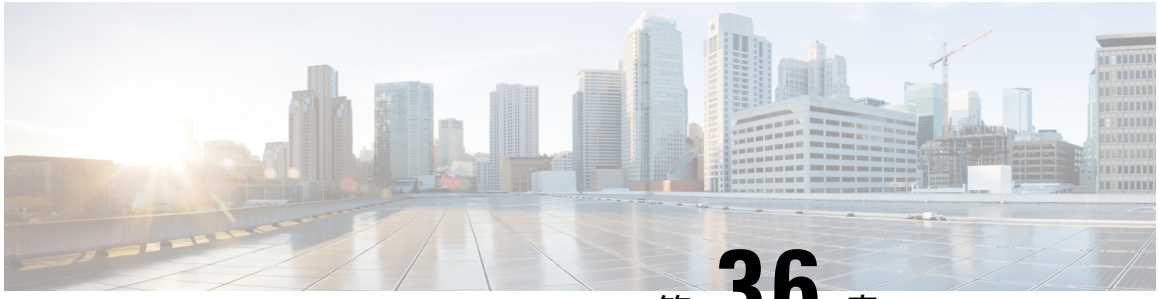
シスコのバグ検索ツール（BST）は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BST は、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

未解決の問題

Cisco Spaces のこのリリースに未解決の問題はありません。

解決済みの問題

Cisco Spaces のこのリリースに解決済みの問題はありません。



第 36 章

2022 年 1 月

- 今回のリリースでの新機能 （125 ページ）
- このリリースでの変更点 （125 ページ）
- 問題 （125 ページ）

今回のリリースでの新機能

Cisco Spaces のこのリリースに新機能はありません。

このリリースでの変更点

ダッシュボード

Cisco Spaces パートナーダッシュボードでは、次の機能強化が加えられました。

行動メトリクス

行動メトリクスが機能強化され、[Sub Vertical] レベルのベンチマーク指標が表示されるようになりました。これは、副業種が定義されているカテゴリ平均メトリックとアカウントに適用されます。

副業種が定義されていない場合、カテゴリの平均指標は業種の階層レベルのベンチマークに基づいて計算されます。

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。「解決済みの問題」と「未解決の問題」の項に、このリリースの問題が一覧表示されています。

各問題について、次の情報が提供されます。

- 識別子：各問題には、一意の識別子（ID）が割り当てられます。識別子は CSCxxNNNNN というパターンで、x は任意の文字（a ～ z）、N は任意の数字（0 ～ 9）です。これらの

ID は、セキュリティアドバイザリ、フィールド通知、その他のシスコのサポートドキュメントなど、シスコのマニュアルでよく使用されます。Cisco Technical Assistance Center（TAC）エンジニアまたはその他のシスコのスタッフからも、特定の問題の ID が提供されます。

- 説明：問題が発生したときに観察された内容の説明。

シスコのバグ検索ツール

シスコのバグ検索ツール（BST）は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BST は、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

未解決の問題

Cisco Spaces のこのリリースに未解決の問題はありません。

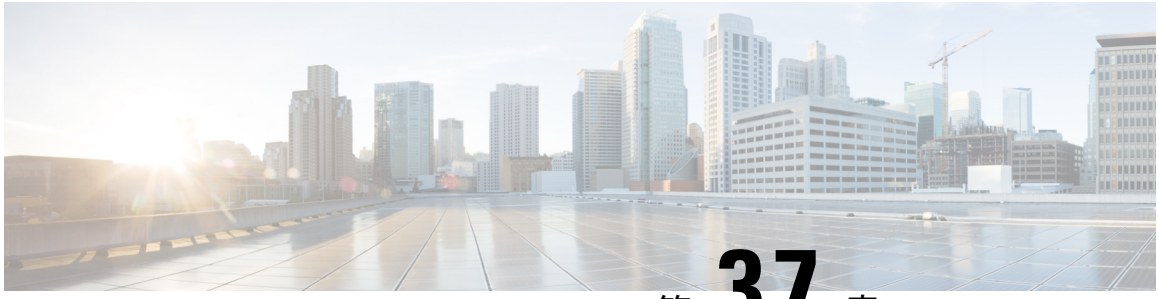
解決済みの問題

Cisco Spaces のこのリリースに解決済みの問題はありません。

第 IV 部

2021 以前のリリース

• 2021 以前のリリース （129 ページ）



第 37 章

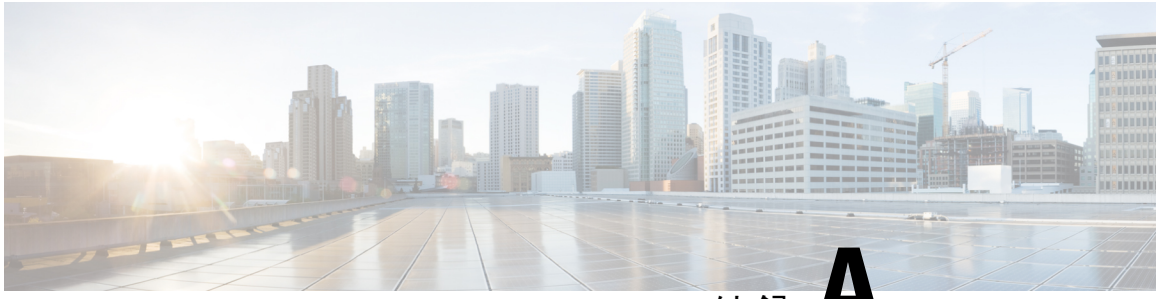
2021 以前のリリース

• 2021 以前のリリース （129 ページ）

2021 以前のリリース

2021 年以前の Cisco Spaces リリースノートについては、『Release Notes Archive for Cisco Spaces』を参照してください。

2021 以前のリリース



付録 A

サポート情報

- 関連資料 （131 ページ）
- 通信、サービス、およびその他の情報 （132 ページ）

関連資料

- Cisco Spaces のすべてのユーザーマニュアルは、https://www.cisco.com/c/en/us/support/wireless/dna-spaces/series.html [英語] で入手できます。
  - Cisco Spaces Data Sheet
  - Cisco Spaces コンフィギュレーション ガイド
  - Release Notes for Cisco Spaces: Connector
  - Guide to Migrating Location Services to Cisco Spaces
  - Cisco Spaces compatibility with other Cisco products
  - Cisco Wireless Solutions Software Compatibility Matrix
- 接続のタイプに応じた Cisco Spaces 機能の互換性については、『Cisco Spaces Data Sheet』の「Table 3. Feature compatibility depending on type of connection」を参照してください。
- Cisco Spaces See、Extend、および Act ライセンスに含まれる機能については、次の Web ページの「Table 5 Features included in Cisco Spaces See, Extend, and Act」を参照してください。

  https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/wireless/dna-spaces/datasheet-c78-741786.html#PlatformArchitectureandfeatures
- Cisco Spaces へのロケーションサービスの移行については、https://www.cisco.com/c/en/us/solutions/collateral/enterprise-networks/dna-spaces/guide-c07-744932.html を参照してください。
- Cisco Spaces と Catalyst Center の統合については、次の場所にある『Cisco Spaces Configuration Guide』の「Cisco Catalyst Center Integration」の章を参照してください。

  https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/solutions/Enterprise/Mobility/DNA-Spaces/cisco-dna-spaces-config/dnaspaces-configuration-guide/m_dnac.html

- Cisco Prime Infrastructure から Catalyst Center へのデータ移行の詳細については、『Cisco Digital Network Architecture Center Data Migration Guide』または「Migrate Data from Cisco Prime Infrastructure to Catalyst Center」を参照してください。
- Cisco Prime Infrastructure のすべてのユーザーマニュアルは、次の場所で入手できます。

  https://www.cisco.com/c/en/us/support/cloud-systems-management/prime-infrastructure/series.html
- Catalyst Center のすべてのユーザーマニュアルは、次の場所で入手できます。

  https://www.cisco.com/c/en/us/support/cloud-systems-management/dna-center/series.html
- Cisco Spaces のサポート情報については、「サポート」を参照するか、Cisco Spaces サポートチーム にお問い合わせください。

通信、サービス、およびその他の情報

- シスコからタイムリーな関連情報を受け取るには、Cisco Profile Manager でサインアップしてください。
- 重要な技術によりビジネスに必要な影響を与えるには、Cisco Services [英語] にアクセスしてください。
- サービスリクエストを送信するには、Cisco Support [英語] にアクセスしてください。
- 安全で検証済みのエンタープライズクラスのアプリケーション、製品、ソリューション、およびサービスを探して参照するには、Cisco DevNet [英語] にアクセスしてください。
- 一般的なネットワーク、トレーニング、認定関連の出版物を入手するには、Cisco Press [英語] にアクセスしてください。
- 特定の製品または製品ファミリの保証情報を探すには、Cisco Warranty Finder にアクセスしてください。

シスコのバグ検索ツール

シスコのバグ検索ツール（BST）は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BST は、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

マニュアルに関するフィードバック

シスコの技術マニュアルに関するフィードバックを提供するには、それぞれのオンラインドキュメントの右側のペインにあるフィードバックフォームを使用してください。

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。